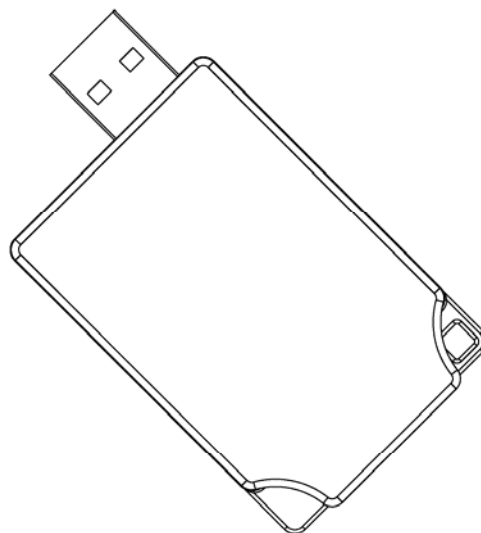


netindex

NS001U
64bit 版
取扱説明書



はじめに

このたびは、「NS001U」(以降、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、お使いのパソコンで本製品を利用できるようにするまでのセットアップ方法や困ったときにお客様に確認していただきたい内容を記載しています。



お願い

●本製品に付属している「簡易取扱説明書」には、本製品を安全に正しくご使用いただくために気をつけていただきたいことや、本製品の使用方法などが記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

「簡易取扱説明書」記載内容

- ・梱包品の確認
- ・本製品の使用方法
- ・安全上のご注意
- ・使用上のご注意
- ・仕様
- ・携帯電話/PHS のリサイクルについて
- ・保証書
- ・お問い合わせ先

使用環境	USB インターフェースを装備したパソコン
対応 OS	・Windows XP 日本語版(64bit 版) ・Windows Vista 日本語版(64bit 版) ・Windows 7 日本語版(64bit 版)
対応 W-SIM	RX420IN (RX420IN 以外の W-SIM は使用できません。)

上記に該当する場合でも、パソコンや周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様のご利用環境により、正常に動作しない場合があります。

最新の動作確認機種、対応 OS については、当社ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

おことわり

- ・本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
 - ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
 - ・本書の内容に関して、改良の為、予告なく変更することがあります。
 - ・本書の内容については万全を期しておりますが、正確性を保証するものではありません。万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
 - ・本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社および販売店などは一切の責任を負いません。
 - ・本製品に搭載・同梱されているソフトウェアまたはその一部を、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブリを行うことは、禁止されています。
-
- ・Hayes(ヘイズ)は米国 Hayes Microcomputer Products, Inc の登録商標です。
 - ・Windows®は Microsoft® Windows® operating system の略称、Windows® XP は Microsoft® Windows® XP operating system の略称、Windows Vista®は Windows Vista® operating system の略称、Windows® 7 は Windows 7® operating system の略称として記載しています。
 - ・Microsoft®, Windows®, Windows Vista®, Windows 7®は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・Mac 及び Mac OS、Safari は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc.の登録商標または商標です。・PIAFS は PHS Internet Access Forum Standard の略称です。
 - ・Willcom 及びウイルコムは、株式会社ウイルコムの登録商標です。
 - ・PRIN、AIR-EDGE は株式会社ウイルコムの登録商標です。
 - ・その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

通信方式について

本製品の通信方式を以下に示します。

データ通信を始めるにあたり、通信方式をご理解の上、始めていただくことをおすすめします。

■32kPIAFS

PHS データ通信標準規格の通信方式です。ISDN 回線に接続された PIAFS 対応のターミナルアダプタ (TAP)などに接続することにより 32kbps のデータ通信が可能です。

■64kPIAFS(ベストエフォート)

基地局の利用状況により通信速度をフレキシブルに選択、通信がつながりやすく、切断されにくい環境を実現するものです。ISDN 回線に接続されたベストエフォート方式のターミナルアダプタ (TAPB)などに接続することで最大 64kbps のデータ通信が可能です。

■フレックスチェンジ方式

トラフィックに応じて 1x パケット方式と PIAFS 方式を自動で切り替える通信方式です。

■1xパケット方式(イチエックス)

データをパケット単位に分割して効率的に送る通信方式です。

■2xパケット方式(ニエックス)

1x パケット方式を 2 チャンネル束ねて増速する通信方式です。

■4xパケット方式(ヨンエックス)

1x パケット方式を 4 チャンネル束ねて増速する通信方式です。



お知らせ

- 無線モデム、FAX、無線インターネットには対応していません。
- 家庭モード、トランシーバモードには対応していません。

通信方式の設定について

本製品の通信方式を設定するには2通りの方法があります。

【アクセスポイントの電話番号に続けて「##mn」を入力する】方法と【本製品の追加設定に AT コマンド (@Omn)を入力する】方法の2通りの方法があります。ご都合の良い方法を選んでご利用ください。

アクセスポイントの電話番号に続けて[##mn]を入力する

アクセス方式	##mn
32kPIAFS	→ ##3
64kPIAFS(ベストエフォート)	→ ##4
フレックスチェンジ方式	→ ##7
1xパケット方式	→ ##61
2x/4xパケット方式	→ ##64



お願い

●4xパケット方式の場合の設定例

電話番号が0570-570-△△△のときは電話番号の入力欄に以下のように入力してください。

0570570△△△##64



お知らせ

●フレックスチェンジ方式、1xパケット方式、2xパケット方式、4xパケット方式対応の料金コースをご利用のお客様は、回線交換方式(32kPIAFS、64kPIAFS)で通信を行う場合、別途回線交換料金が発生しますのでご注意ください。

本製品の追加設定に AT コマンド(@Omn)を入力する

デバイスマネージャ画面(「設定画面の表示方法」⇒73ページ)を開き、[NetIndex RX420IN]をダブルクリックします。[詳細]タブの[追加の初期コマンド]に[@Omn]を入力します(Oはアルファベットのオーです)。たとえば(@O64)と入力した場合は、電話番号の末尾に(##64)を入力しなくても、4xパケット方式で通信を行います。

アクセス方式	@Omn
32kPIAFS	→ @O3
64kPIAFS(ベストエフォート)	→ @O4
フレックスチェンジ方式	→ @O7
1xパケット方式	→ @O61
2x/4xパケット方式	→ @O64



お知らせ

●通信方式の設定を正しく行わないと通信ができません。

●2通りの方法で設定を行った場合、[@Omn]の設定よりも[##mn]の設定が優先されます。

発着信の制限について

フレックスチェンジ方式、1xパケット方式、2xパケット方式、4xパケット方式の場合、**発信**(電話をかける)のみ可能で、**着信**(電話をうける)はサポートしていません。



お知らせ

- 発信: データ通信における発信とは、電話をかけることをいいます。
- 着信: データ通信における着信とは、電話をうけることをいいます。
※どちらもデータの送受信方向とは異なります。
- 本製品は自営標準には対応していません。このため子機登録による家庭モードおよび子機間通信(トランシーバモード)ではご利用いただけません。

発信者番号非通知設定について

発信者番号非通知設定は、ターミナルソフトなどからATコマンド入力により、通知/非通知を設定することができます。設定方法については、「[発信者番号通知機能の設定](#)」⇒72 ページをご覧ください。



お知らせ

- 発信者番号を非通知に設定した場合、PRINなどの各プロバイダにおいて、接続できなくなることがあります。非通知に設定する場合には、充分注意してください。

分計サービス設定について

分計サービスとはウィルコムが提供するサービスです。通話料金の請求先を2つに分けることができますので、ビジネス用/プライベート用など、用途に応じた料金の区別が可能です。

分計サービス設定は、ユーティリティ、またはターミナルソフトなどからのATコマンド入力により、設定することができます。

ユーティリティによる設定方法については「[ユーティリティの機能](#)」⇒57 ページ)、ATコマンド入力による設定方法については、「[ATコマンドリファレンス](#)」⇒70 ページ)をご覧ください。



お願い

- 分計サービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。詳しくは、当社サポートデスクまでお問い合わせください。「お問い合わせ先」は、付属の「簡易取扱説明書」の「お問い合わせ先」をご覧ください。



お知らせ

- パケット方式・フレックスチェンジ方式によるデータ通信の場合、分計サービスをご利用いただけません。

もくじ

はじめに.....	1
おことわり.....	2
通信方式について.....	3
通信方式の設定について.....	4
アクセスポイントの電話番号に続けて[##mn]を入力する.....	4
本製品の追加設定にATコマンド(@Omn)を入力する.....	4
発着信の制限について.....	5
発信者番号非通知設定について.....	5
分計サービス設定について.....	5
もくじ.....	6
1章 セットアップ.....	8
セットアップについて.....	8
セットアップを始める前に.....	8
簡単セットアップツールを利用したセットアップの準備.....	8
手動によるセットアップの準備.....	9
セットアップ-Windows XP-.....	10
管理者 (Administrator) 権限の確認方法.....	10
ドライバのインストール.....	11
ドライバをインストールする.....	11
プロバイダの各種設定を行う.....	14
インターネットに接続する.....	22
接続を終了する.....	23
本製品をパソコンから取り外す.....	23
セットアップ-Windows Vista-.....	24
管理者 (Administrator) 権限の確認方法.....	24
ドライバのインストール.....	25
ドライバをインストールする.....	25
プロバイダの各種設定を行う.....	28
インターネットに接続する.....	36
接続を終了する.....	38
本製品をパソコンから取り外す.....	38
セットアップ-Windows 7-.....	39
管理者 (Administrator) 権限の確認方法.....	39
ドライバのインストール.....	40
ドライバをインストールする.....	40
プロバイダの各種設定を行う.....	44
インターネットに接続する.....	51
接続を終了する.....	52
本製品をパソコンから取り外す.....	52
ドライバをアンインストールする.....	53
ドライバをアンインストールする.....	53

2 章 ユーティリティ	54
ユーティリティのセットアップ	54
Windowsの場合	54
ユーティリティの機能	57
通信設定機能	57
国際ローミング機能	58
W-SIMセキュリティ機能	58
ロック機能を有効にする	59
PINコードを変更する	59
ロック機能を無効にする	60
ロック機能を解除する	60
PUKロックを解除する	61
診断機能	61
3 章 困ったときに	62
本製品が動作しない場合の確認事項	62
注意事項	63
確認フローチャート	64
よくある質問	67
仕様について	67
機能について	67
セットアップについて	69
その他	69
4 章 付録	70
ATコマンドリファレンス	70
ATコマンドの入力方法例	70
発信者番号通知機能の設定	72
発信者番号を<通知しない>に設定する場合	72
設定画面の表示方法	73
Windows XP	73
Windows Vista	74
Windows 7	76
用語集	78
索引	80
保証とアフターサービスについて	81
保証について	81
修理について	81

1 章 セットアップ

セットアップについて

本製品を利用してデータ通信を行うには、ドライバのインストール、及びプロバイダの各設定を行う必要があります。ここでは、インターネットに接続するまでのセットアップ方法を説明します。

なお、この説明では、代表的な OS やソフトウェアを使用していますが、使用環境により、多少異なる場合があります。最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

セットアップを始める前に

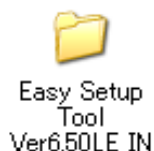
本製品のセットアップは、簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)を利用したセットアップと手動によるセットアップの 2 通りの方法があります。

セットアップを行うには、本製品用の簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)または、ドライバが必要です。簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)やドライバは、当社ホームページよりダウンロードできます。ご利用になるセットアップ方法にあわせて、ダウンロードしてください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/product/p/ns001u/download/>

簡単セットアップツールを利用したセットアップの準備

簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)を利用することにより、ドライバのインストールからプロバイダの設定まで簡単に行うことができます。当社ホームページより「NS001U 簡単セットアップツール」をダウンロードしてください。ダウンロード後は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。ファイルが解凍されます。



※ファイルの解凍先を指定しない場合は、C ドライブに新しく「WILLCOM」フォルダが作成され、その中に解凍したフォルダが格納されます。



お願い

●セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator など)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合は、ご注意ください。



注意

●簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)を利用したセットアップを行う場合、画面の指示があるまで本製品をパソコンへ接続しないでください。正常にセットアップできなくなります。接続してしまい、セットアップができなかった場合は、「ドライバをアンインストールする」⇒53 ページ)をご確認の上、ドライバの削除を行い、再度セットアップを行ってください。

これでセットアップの準備は完了です。解凍したフォルダの中の「Setuptool_Win.exe」をダブルクリックすると、簡単セットアップツール(Easy Setup Tool)が起動しますので画面の指示に従い、セットアップを行ってください。

手動によるセットアップの準備

ドライバのインストールからプロバイダの設定まで全て手動で行います。当社ホームページよりドライバをダウンロードしてください。なお、ドライバは Windows 64bit 対応版と従来の 32bit 版と Mac 用の 3 種類あります。お使いのパソコンに合わせてダウンロードしてください。

ダウンロード後は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてください。ファイルが解凍されます。

Windows 64bit 版の場合



これでセットアップの準備は完了です。お使いのパソコンにあわせて、本書の手順をご確認の上、セットアップを行ってください。ドライバをインストールする際は、解凍したフォルダを参照して、インストールしてください。

セットアップ-Windows XP-

Windows XP を使用した本製品のセットアップ方法を説明します。



お願い

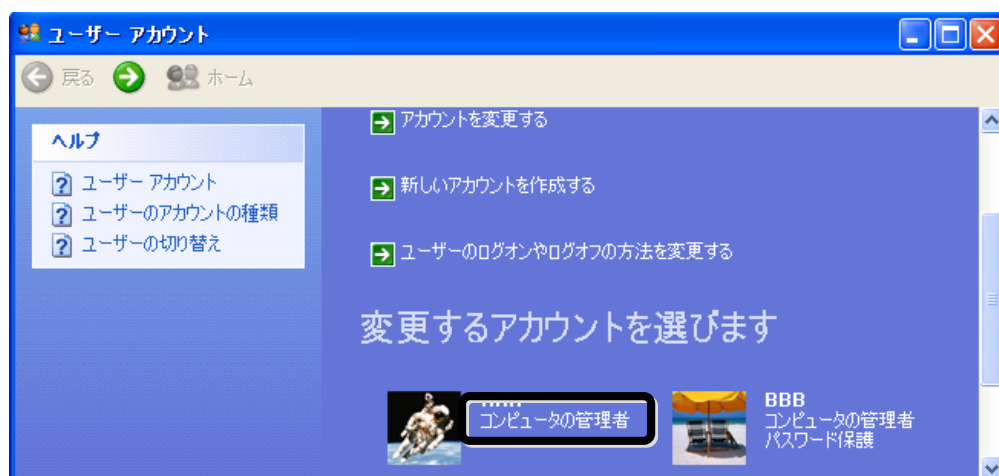
- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator) 」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、下記をご覧ください。

管理者 (Administrator) 権限の確認方法

- ①デスクトップ画面上的[スタート]から[コントロールパネル]を開きます。[ユーザーアカウント]をクリックします。



- ②[ユーザーアカウント]画面が表示されたら、お客様のユーザー名の下に[コンピュータの管理者]と記載してあることを確認してください。



ドライバのインストール

本製品を利用してデータ通信を行うには、「モデムドライバ」をインストールする必要があります。以降の手順に従って、正しくインストールしてください。



お願い

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、「管理者 (Administrator) 権限の確認方法」⇒10ページをご覧ください。

ドライバをインストールする

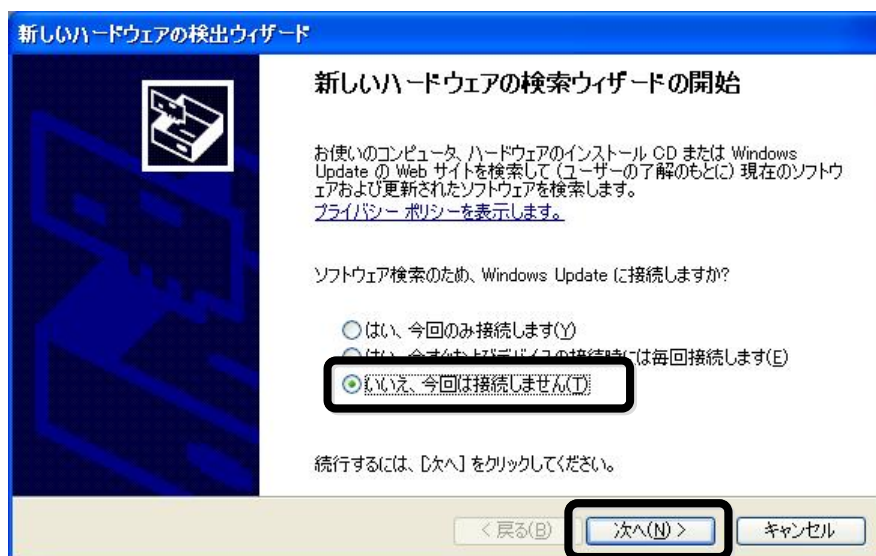
- ① パソコンの電源を ON にし、Windows XP を起動します。
- ② 本製品をパソコンに接続します。



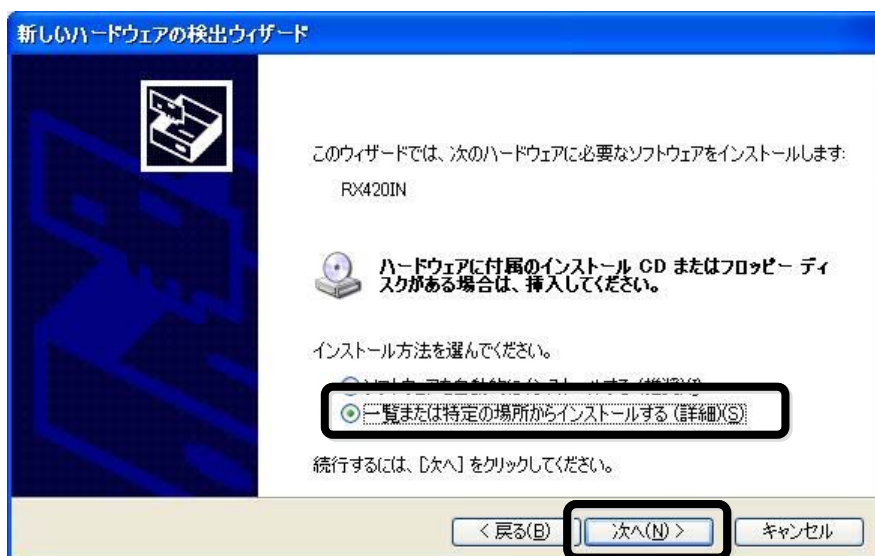
お願い

- パソコンへの接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。

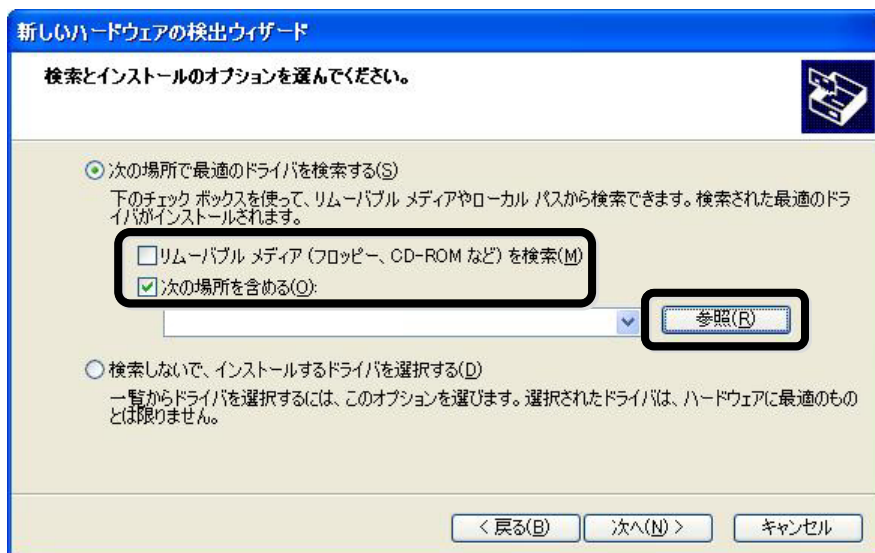
- ③ [新しいハードウェアの検出ウィザード] が起動します。[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックします。



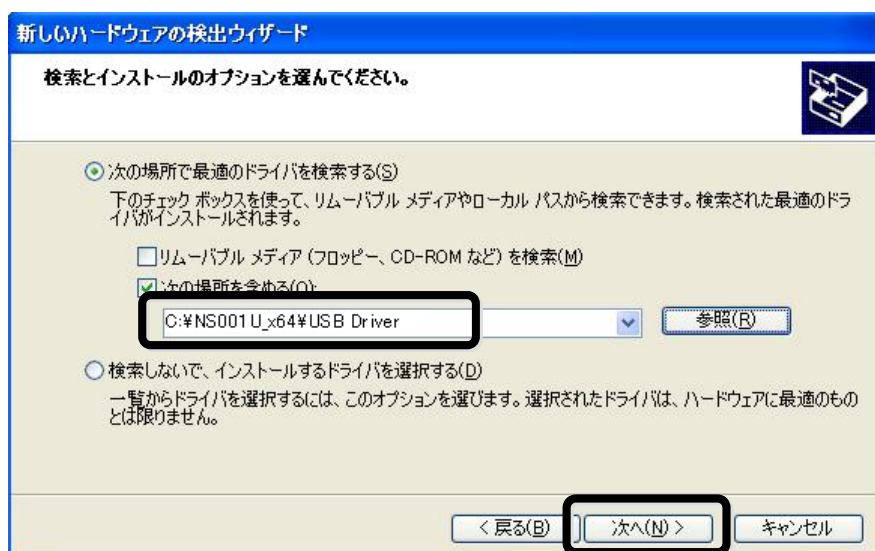
- ④ [一覧または特定の場所からインストールする]を選択し、[次へ]をクリックします。



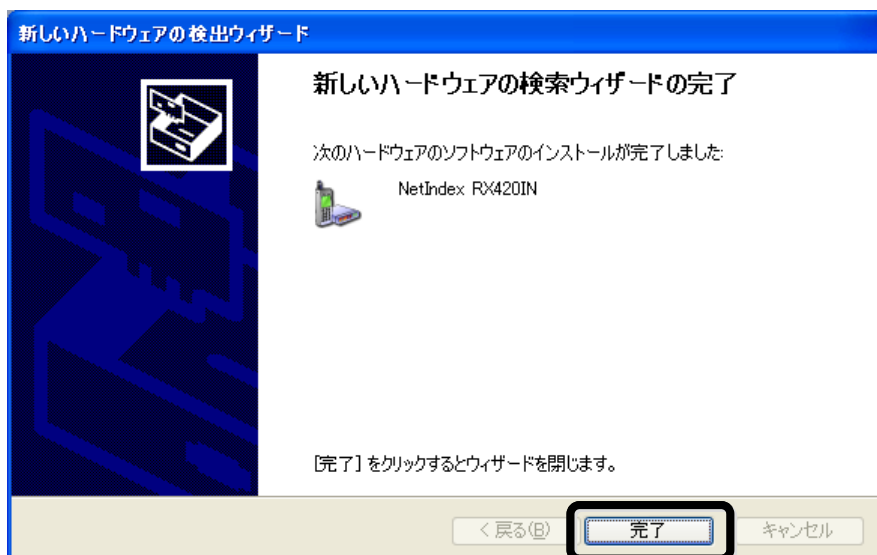
- ⑤ [次の場所で最適なドライバを検索する]を選択します。[リムーバブル メディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索]のチェックを外し、[次の場所を含める]にチェックをつけます。[参照]をクリックします。



- ⑥ (「セットアップを始める前に」⇒8 ページ) でダウンロードした [NS001U_x64] フォルダの中の [USB Driver] フォルダを選択し、[OK]をクリックします。[次へ]をクリックします。



⑦[完了]をクリックします。



- 一度設定すれば、以降は本製品を接続するだけで自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「確認フローチャート」⇒64 ページ)に従って認識動作を行い、再度設定してください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を利用してプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。

ここでは、以下のものが必要となります。

プロバイダの電話番号(アクセスポイント)/DNS アドレス(ネームサーバーアドレス)/ユーザー名/パスワード



- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows XP のマニュアルをご覧ください。なってインストールしてください。



- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

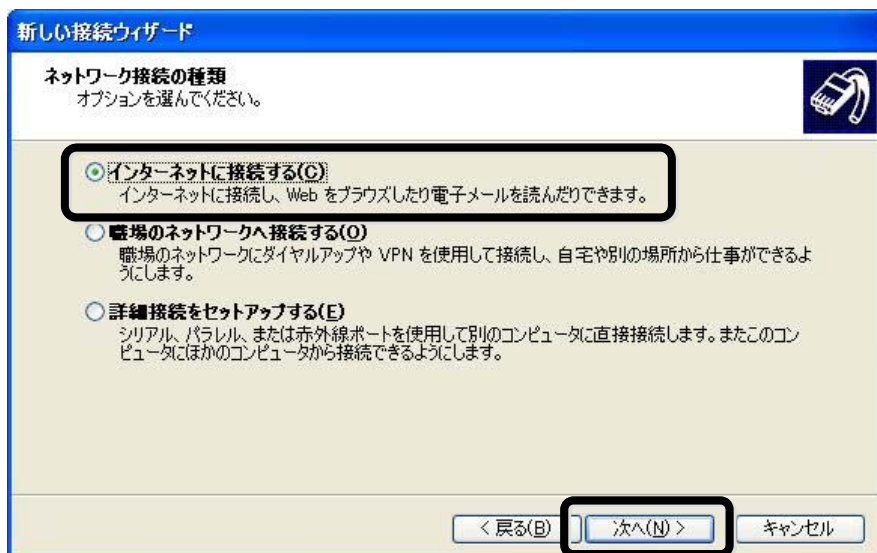
- ① デスクトップ画面上の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開き、[ネットワークタスク]の中の[新しい接続を作成する]をクリックします。



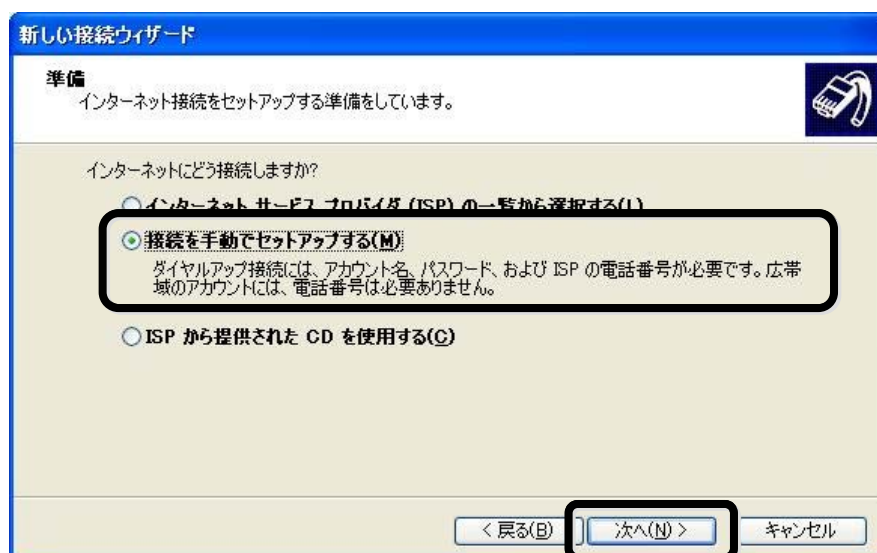
- ② [新しい接続ウィザード]が起動します。[次へ]をクリックします。



③ [インターネットに接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。



④ [接続を手動でセットアップする] を選択し、[次へ] をクリックします。



⑤ [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。



●モデム選択画面が表示された場合は、[NetIndex RX420IN]を選択してください。

⑥ [ISP 名]としてプロバイダの名称や通信方式など(例では NS001U)を入力して[次へ]をクリックします。
(ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。)

⑦ プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。電話番号の入力は契約したプロバイダのアクセスポイントの通信方式によって、それぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」⇒4 ページ) プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を確認してください。

⑧[電話番号]へ手順⑦で確認した電話番号を入力します。

利用する通信方式に対応した電話番号(例:0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mn を加えてください。



お願い

●電話番号入力時、局番間の - (ハイフン)は入力不要です。

以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆32kPIAFS の場合 :0570570△△△##3

◆64kPIAFS(ベストエフォート)の場合 :0570570△△△##4

◆フレックスチェンジ方式の場合 :0570570△△△##7

◆1x パケット方式の場合 :0570570△△△##61

◆2x/4xパケット方式 :0570570△△△##64



お願い

●[接続の利用範囲]画面が表示された場合は、範囲を指定してください。

⑨[ユーザー名]、[パスワード]にプロバイダから取得した情報を入力し、[次へ]をクリックします。



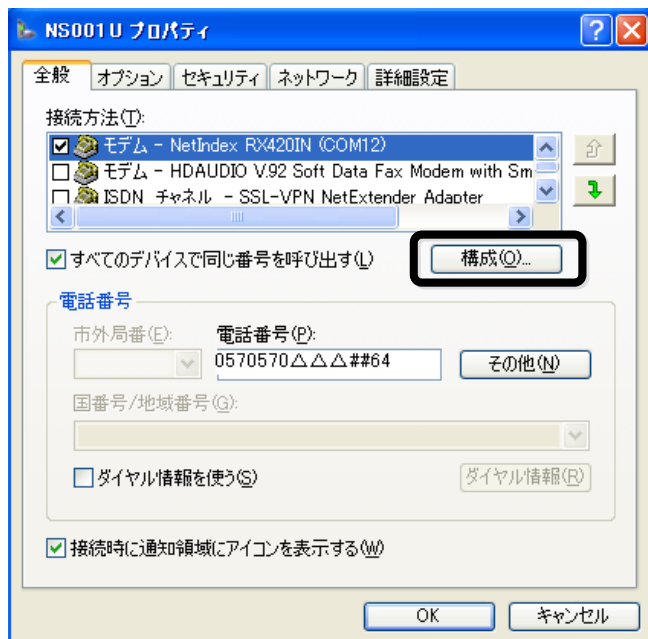
●画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

⑩[完了]をクリックします。[接続]画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックしてください。

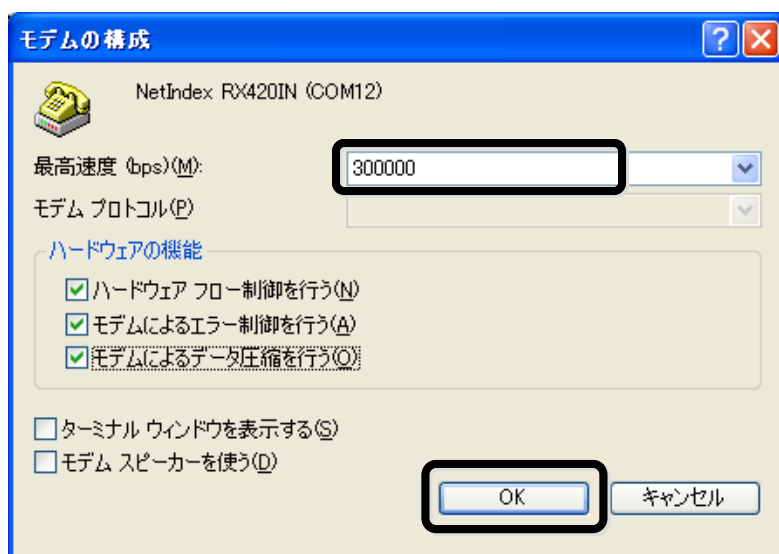
⑪デスクトップ画面上の[スタート]から[接続]→[すべての接続の表示]をクリックします。手順⑥で入力した接続名(例では NS001U)のアイコンが作成されています。アイコンを右クリックし、[プロパティ]を開きます。



- ⑫ [NS001U のプロパティ] 画面が表示されます。[接続時に通知領域にアイコンを表示する] にチェックをつけます。[構成] をクリックします。



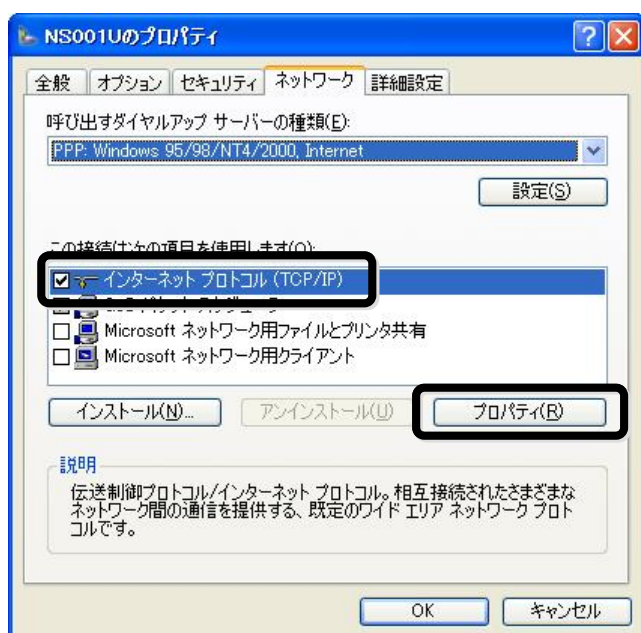
- ⑬ 最高速度設定を確認します。設定を [300000] に設定し、[OK] をクリックします。



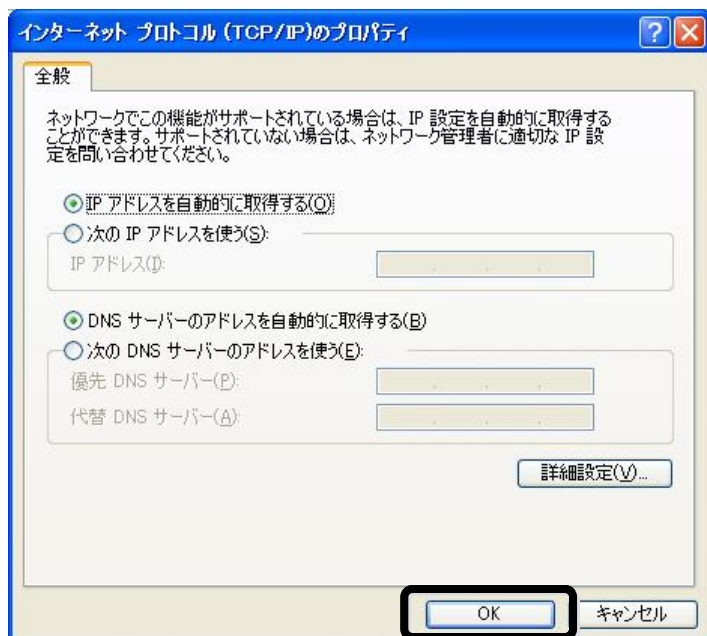
⑭ [NS001U のプロパティ] 画面に戻ります。[ネットワーク] タブを選択します。



⑮ [この接続は次の項目を使用します] で [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



- ⑩プロバイダの指示に従って設定を行ってください。設定が完了したら、続けて[OK]をクリックし、[NS001U のプロパティ]画面を閉じてください。これで設定は完了です。



- プロバイダからネームアドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を指定してください。

インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。
ユーザー名/パスワード/プロバイダの電話番号(アセスポイント)

- ①デスクトップ画面の[スタート]から[接続]→[すべての接続の表示]をクリックします。(「プロバイダの各種設定を行う」⇒14ページ)の手順①のアイコン(例ではNS001U)をダブルクリックします。



- ②プロバイダから取得した[ユーザー名]、[パスワード]、[電話番号]を入力し、[ダイヤル]をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。

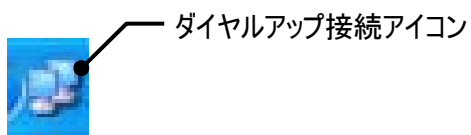


- 画像のユーザー名は、[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

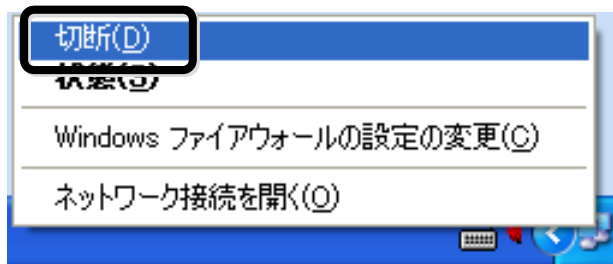
- ③ インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

- ①お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを右クリックします。



- ②表示されたメニューから[切断]をクリックします。



本製品をパソコンから取り外す

- ①接続が終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

セットアップ-Windows Vista-

Windows Vista を使用した本製品のセットアップ方法を説明します。



お願い

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、下記をご覧ください。
- ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は [許可] をクリックしてください。

管理者 (Administrator) 権限の確認方法

- ① デスクトップ画面上の [スタート] から [コントロールパネル] を開きます。[ユーザー アカウントと家族のための安全設定] の [ユーザー アカウントの追加または削除] をクリックします。



- ② [アカウントの管理] 画面が表示されたら、お客様のユーザー名の下に [Administrator] と記載してあることを確認してください。



ドライバのインストール

本製品を利用してデータ通信を行うには、「モデムドライバ」をインストールする必要があります。以降の手順に従って、正しくインストールしてください。



お願い

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、「管理者 (Administrator) 権限の確認方法」⇒24ページをご覧ください。
- ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は [許可] をクリックしてください。

ドライバをインストールする

①パソコンの電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

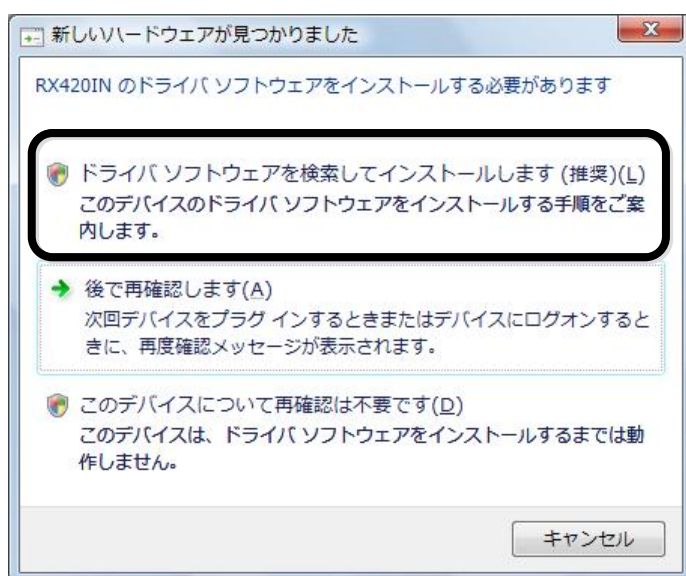
②本製品をパソコンに接続します。



お願い

- パソコンへの接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。
- 本製品を接続後、他のモデムをインストール済みの場合は、ダイヤルアップ接続画面が表示されることがあります。その場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

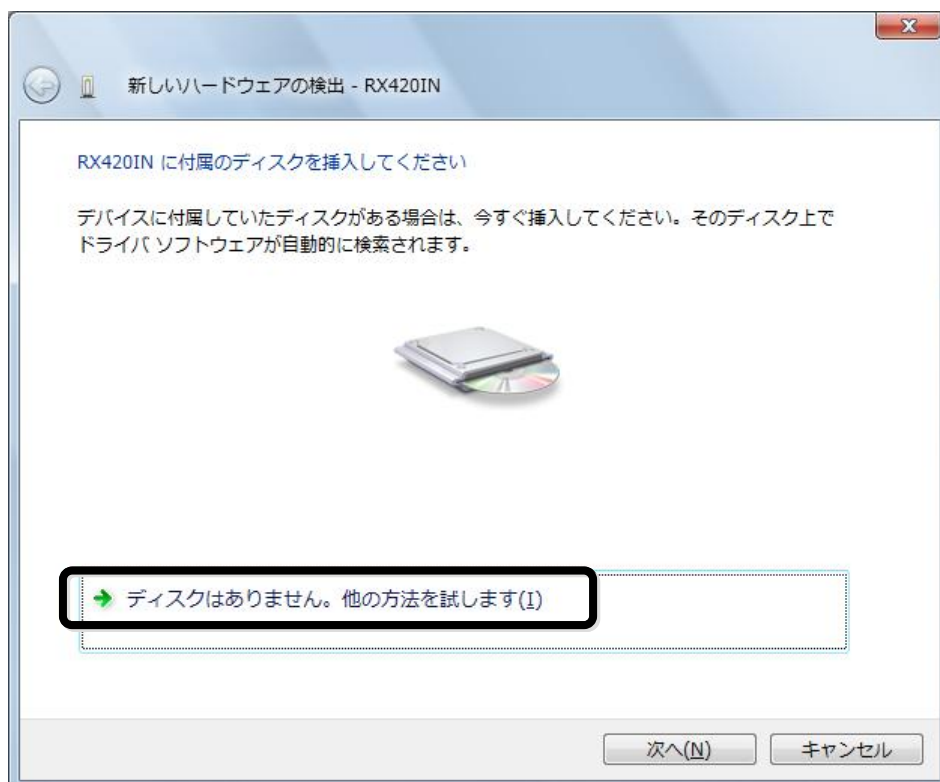
③ [新しいハードウェアが見つかりました] 画面が表示されます。[ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



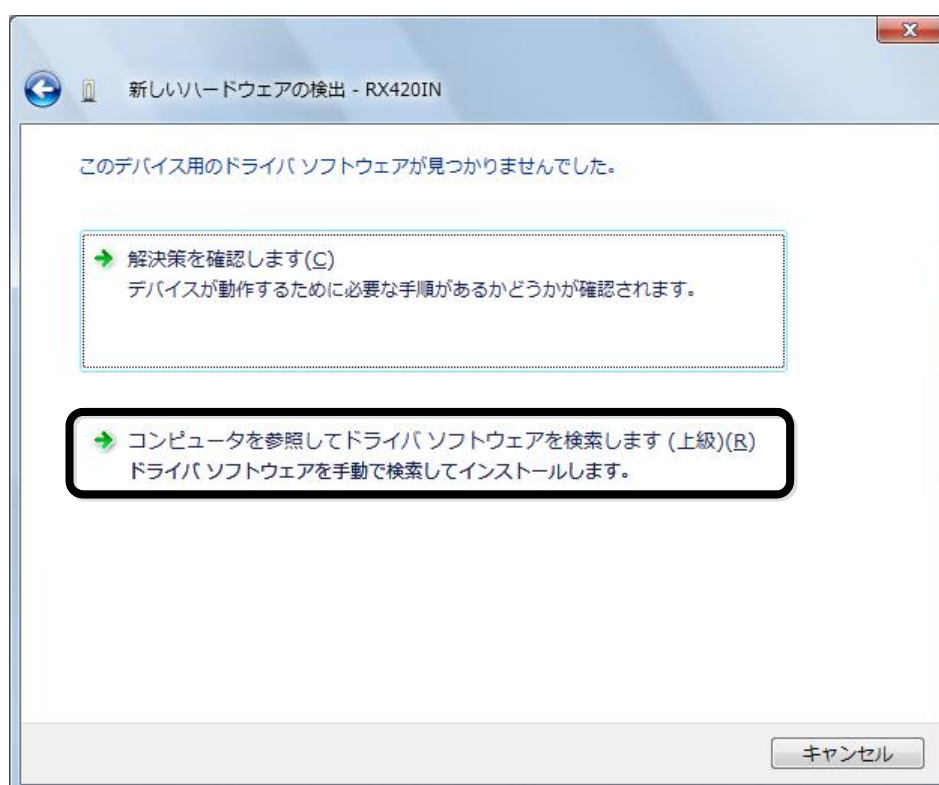
お願い

- [ドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか?] という画面が表示された場合は [オンラインで検索しません] をクリックしてください。

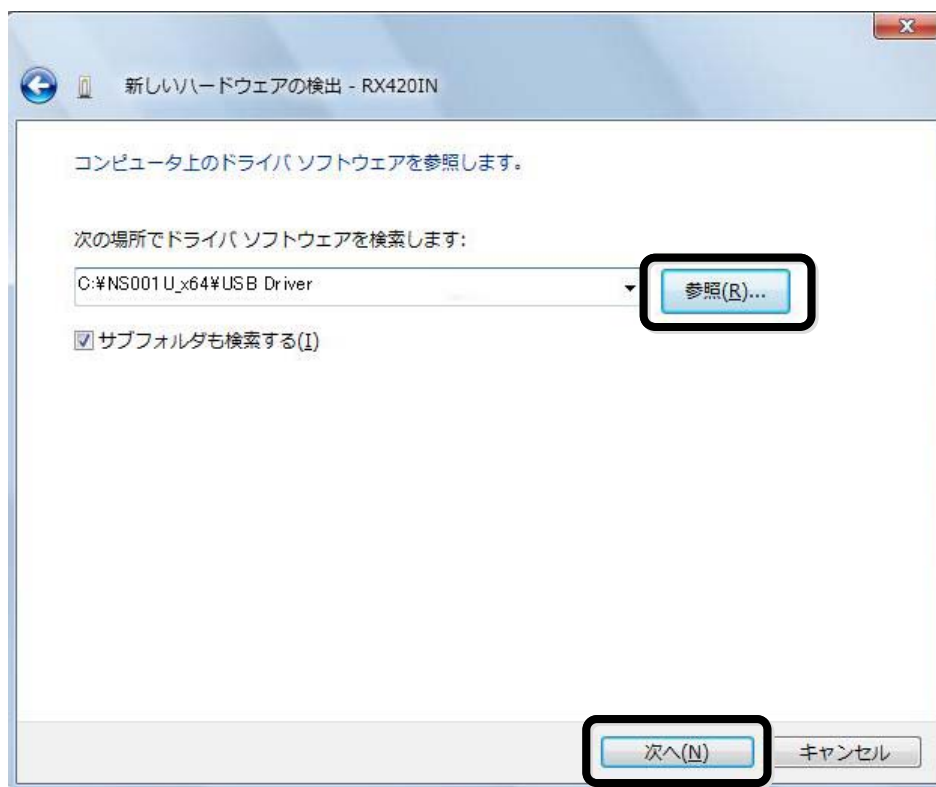
④ [ディスクはありません。他の方法を試します] をクリックします。



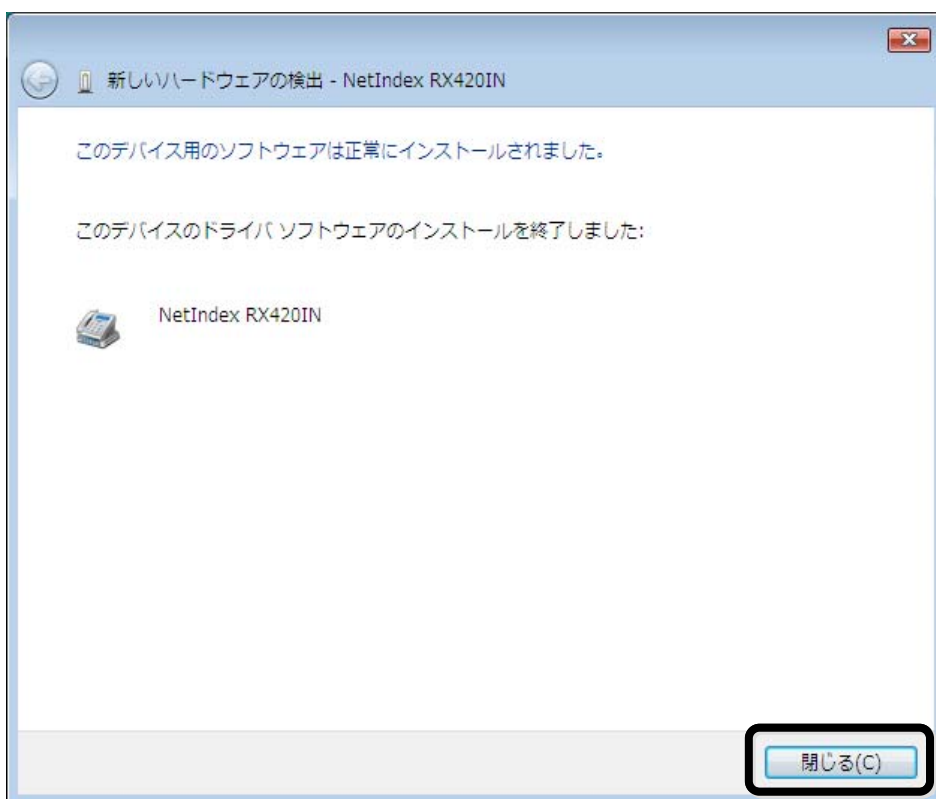
⑤ [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)] をクリックします。



- ⑥ [参照]をクリックし、「(「セットアップを始める前に」⇒8 ページ)でダウンロードした[NS001U_x64]フォルダの中の[USB Driver]フォルダを選択します。[次へ]をクリックします。



- ⑦ [閉じる]をクリックします。



- 一度設定すれば、以降は本製品を接続するだけで自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「確認フローチャート」⇒64 ページ)に従って認識動作を行い、再度設定してください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を利用してプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。

ここでは、以下のものが必要となります。

プロバイダの電話番号(アクセスポイント)/DNS アドレス(ネームサーバーアドレス)/ユーザー名/パスワード



お願い

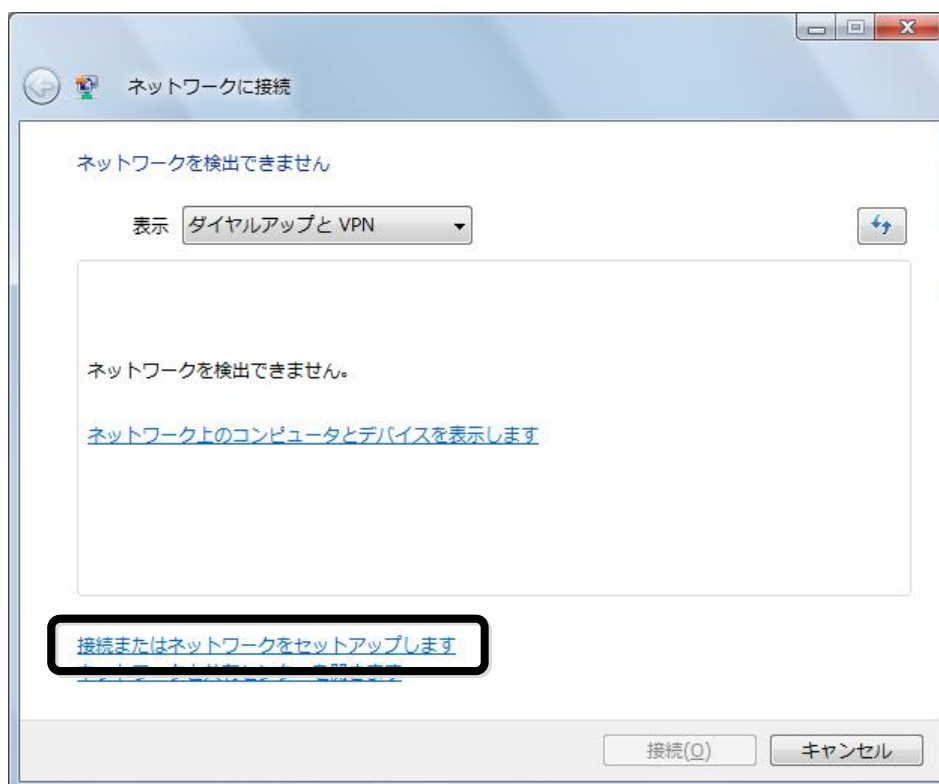
- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows Vista のマニュアルをご覧になってインストールしてください。



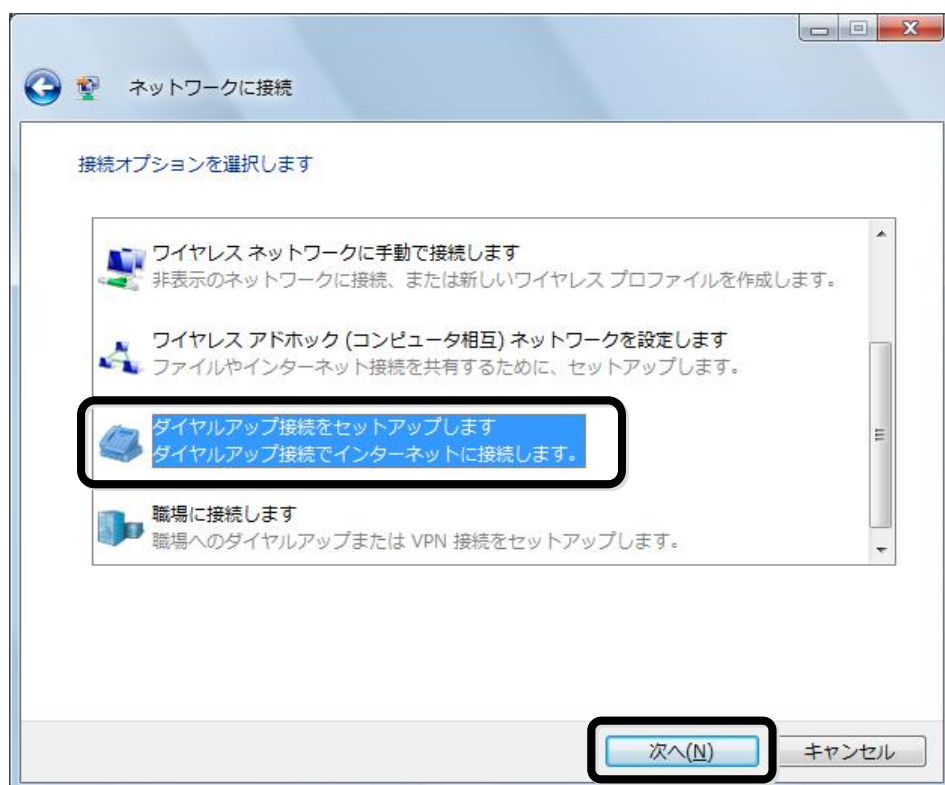
お知らせ

- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

- ① デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]を開きます。[ネットワークに接続]画面にて[接続またはネットワークをセットアップします]をクリックします。



②[ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択し、[次へ]をクリックします。



お願い

●モデム選択画面が表示された場合は、[NetIndex RX420IN]を選択してください。

③プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。電話番号の入力は契約したプロバイダのアクセスポイントの通信方式によって、それぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」⇒4 ページ) プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を確認してください。

④各情報を入力します。[ダイヤルアップの電話番号]へ手順③で確認した電話番号を入力します。利用する通信方式に対応した電話番号(例:0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

[ユーザー名]、[パスワード]にはプロバイダから取得した情報を入力してください。

[接続名]はプロバイダの名称や通信方式など(例では NS001U)を入力してください。(ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。)入力後、[接続]をクリックします。



お願い

●電話番号入力時、局番間の - (ハイフン)は入力不要です。

以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆32kPIAFS の場合 :0570570△△△##3

◆64kPIAFS(ベストエフォート)の場合 :0570570△△△##4

◆フレックスチェンジ方式の場合 :0570570△△△##7

◆1x パケット方式の場合 :0570570△△△##61

◆2x/4xパケット方式 :0570570△△△##64

●画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

ダイヤルアップ接続をセットアップします

インターネット サービス プロバイダ (ISP) の情報を入力します

ダイヤルアップの電話番号(D): 0570570△△△##64 [ダイヤル情報](#)

ユーザー名(U): ××××

パスワード(P): ●●●●●●

パスワードの文字を表示する(S)

このパスワードを記憶する(R)

接続名(N): NS001U

他の人がこの接続を使うことを許可する(A)

このオプションによって、このコンピュータにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。

[ISPがありません](#)

接続(C) キャンセル

⑤インターネットに接続されたことを確認し、[閉じる]をクリックします。



お願い

●手順⑤の画面で「インターネット接続テストに失敗しました」と表示された場合は本製品が正しく認識されていない可能性があります。下記手順にて確認を行ってください。

- ① [接続をセットアップします] をクリックし、その後「インターネットへの接続を使用する準備ができました」という画面が表示されますので [閉じる] をクリックしてください。
- ② (「確認フローチャート」⇒64 ページ) にて正しく認識されているか確認を行ってください。

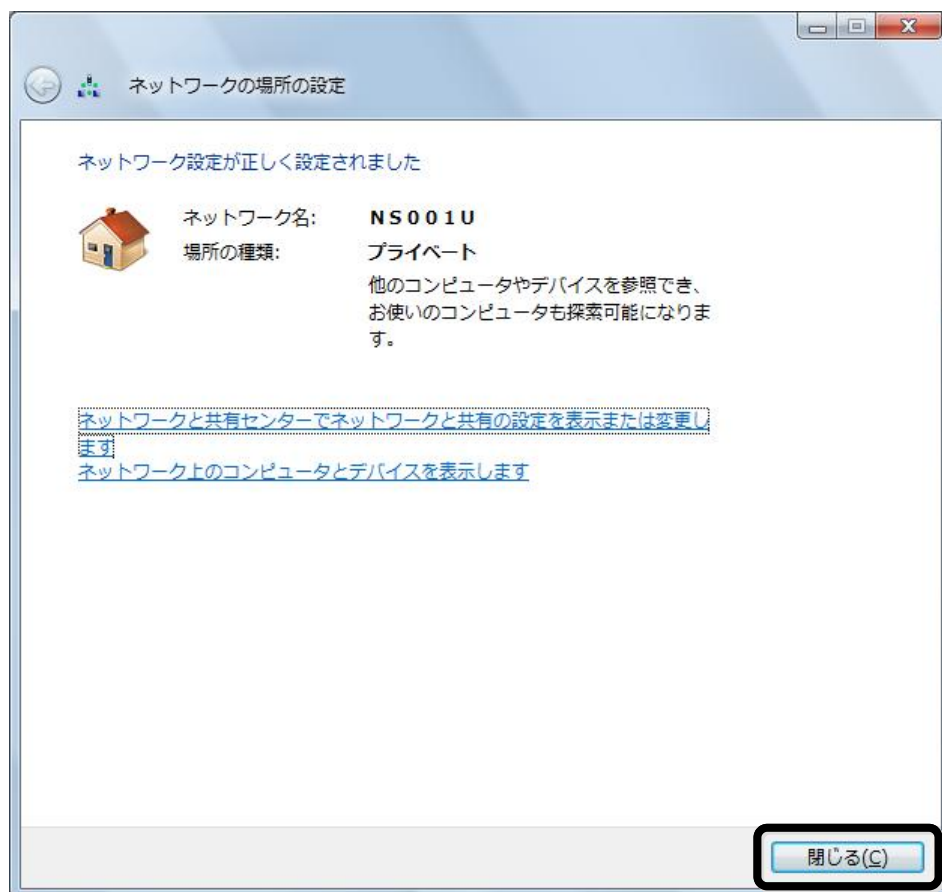
⑥ネットワークの場所を選択します。お客様の使用環境に合わせて任意の場所を選択してください。



お願い

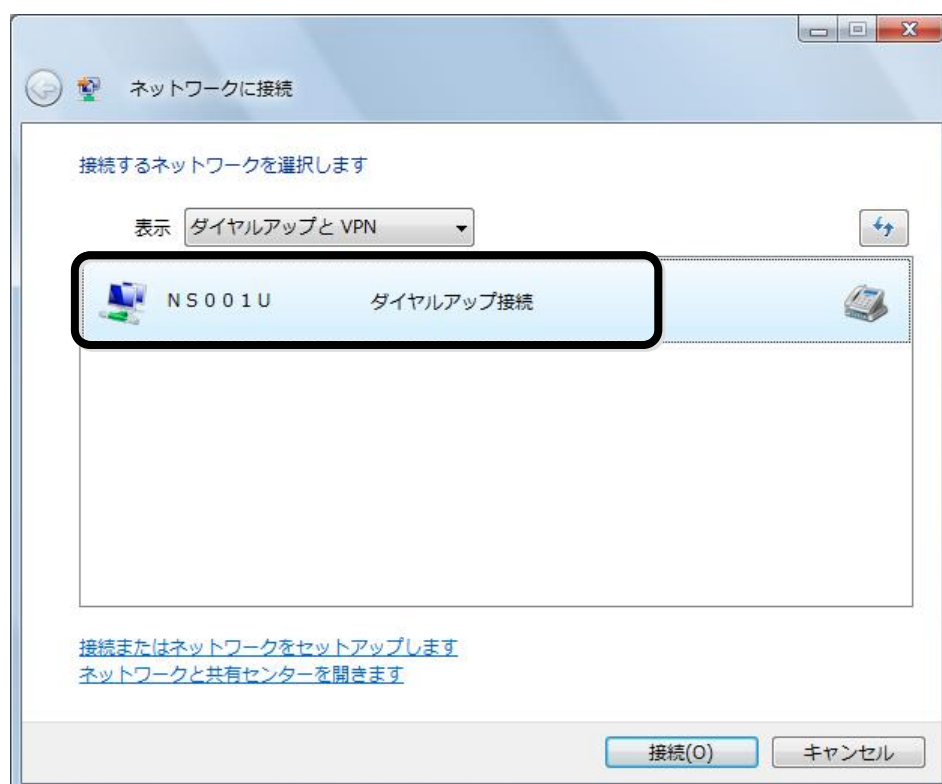
- [ネットワークの場所の設定] 画面が表示されない場合があります。設定を変更するには、本製品をインターネットに接続した状態で、デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]→[ネットワークと共有センターを開きます]をクリックします。[ネットワークと共有センター]画面にて[カスタマイズ]をクリックします。[場所の種類]からお客様の使用環境に合わせた場所を選択してください。

⑦[閉じる]をクリックします。

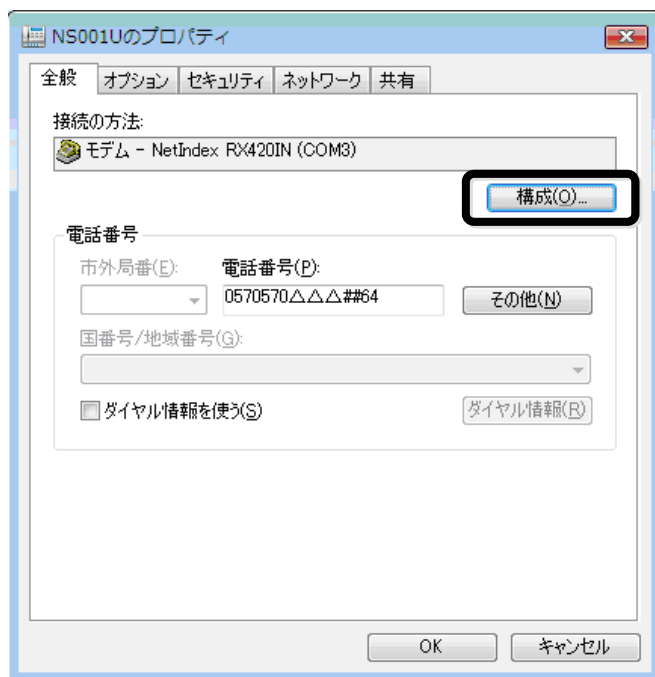


⑧接続を終了します。終了方法については(「接続を終了する」⇒38 ページ)をご覧ください。

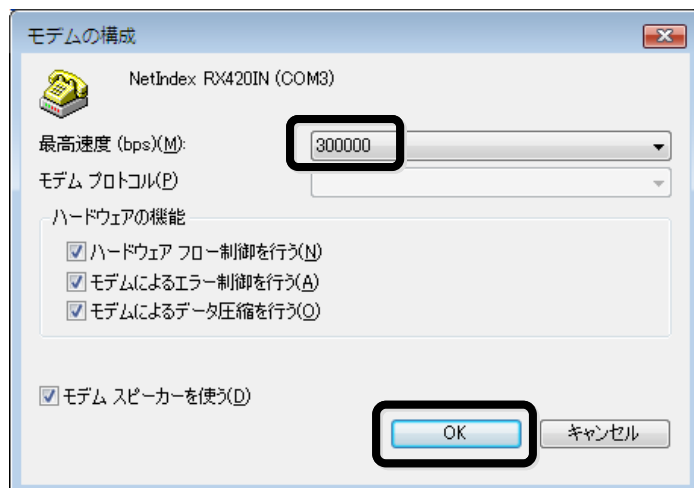
⑨デスクトップ画面上的[スタート]から[接続先]を開きます。手順⑤で入力した接続先名と同じ接続先を右クリックし、表示メニューから[プロパティ]をクリックします。



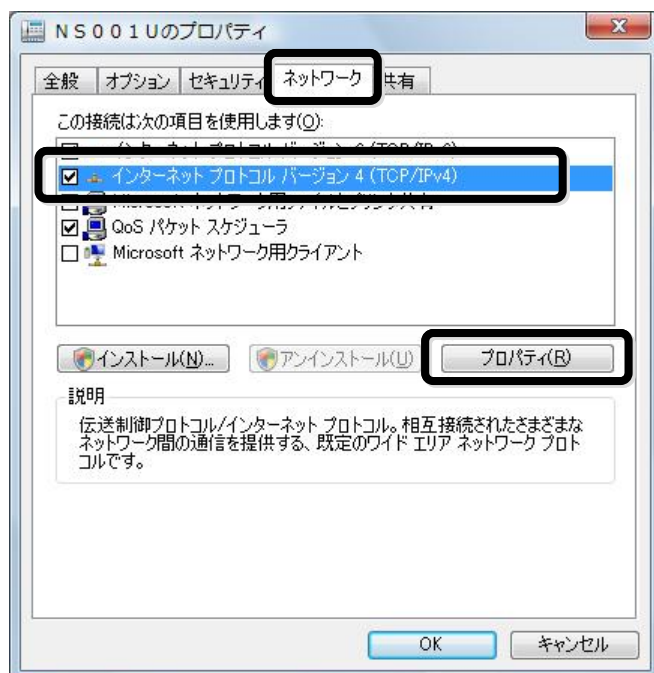
⑩ [NS001Uのプロパティ]画面が表示されます。[構成]をクリックします。



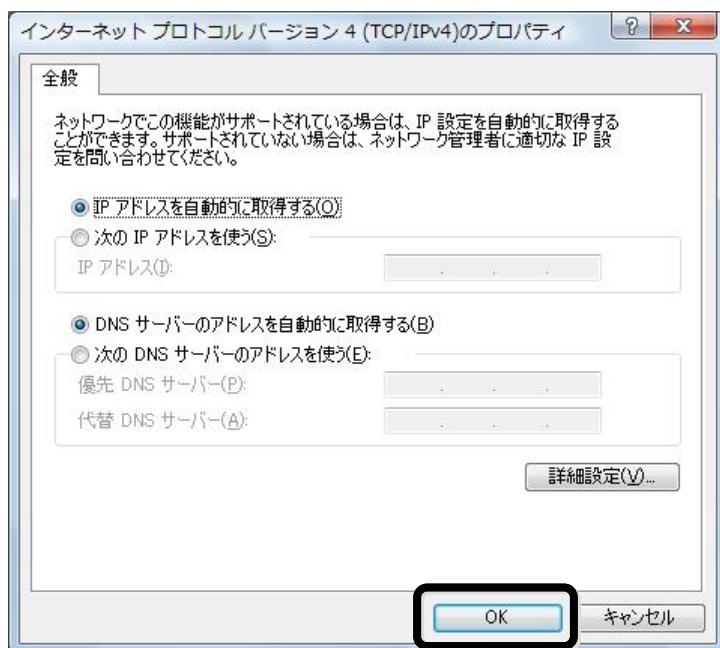
⑪ 最高速度設定を確認します。設定を[300000]に設定し、[OK]をクリックします。



⑫[NS001U のプロパティ]画面で、[ネットワーク]タブを選択します。[この接続は次の項目を使用します]で[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。



⑬プロバイダの指示に従って設定を行ってください。設定が完了したら、続けて[OK]をクリックし、[NS001U のプロパティ]画面を閉じてください。これで設定は完了です。

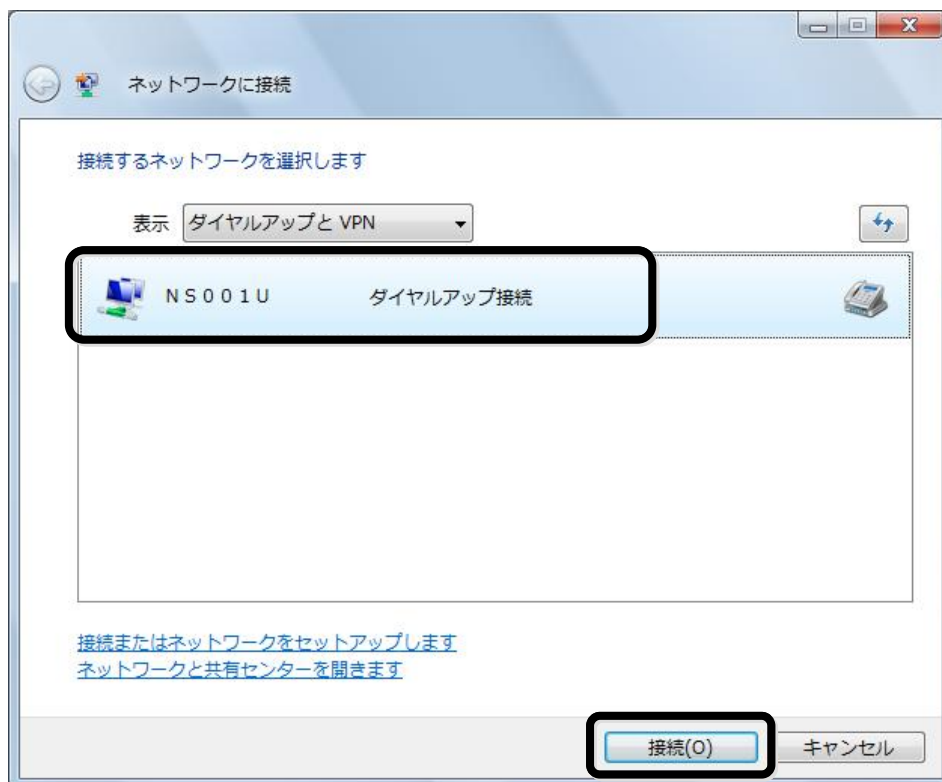


●プロバイダから名前アドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を指定してください。

インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。
ユーザー名/パスワード/プロバイダの電話番号(アクセスポイント)

- ①デスクトップ画面の[スタート]から[接続先]を開きます。(「プロバイダの各種設定を行う」⇒28 ページ)の
手順④で入力した接続先名と同じ接続先(例ではNS001U)を選択し、[接続]をクリックします。

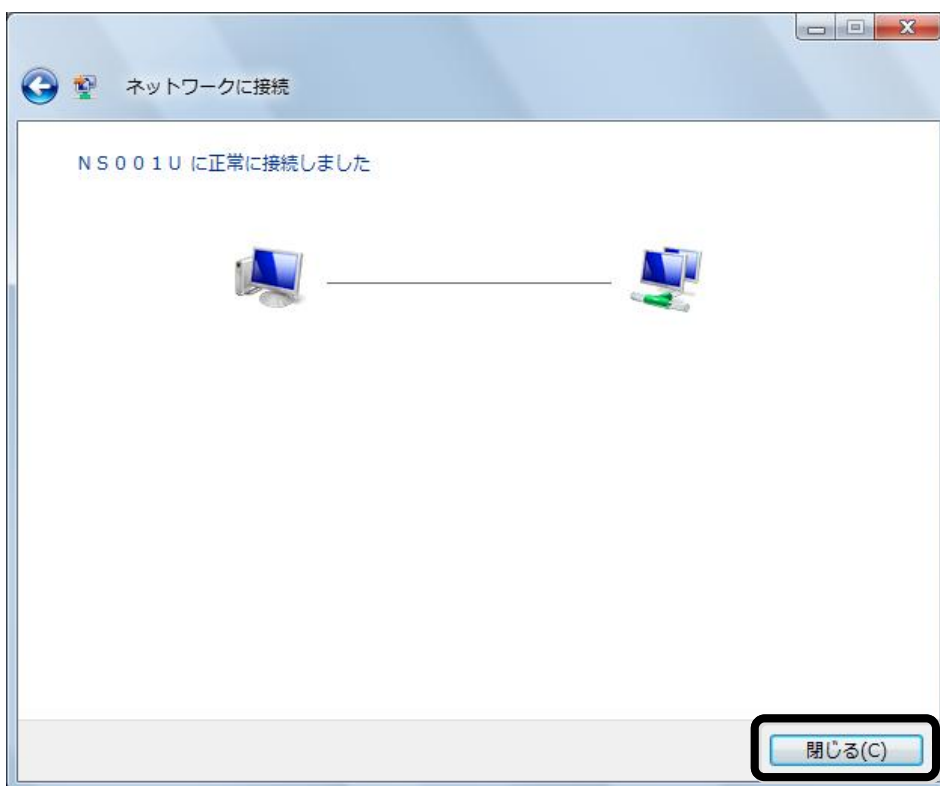


- ②プロバイダから取得した[ユーザー名]、[パスワード]、[電話番号]を入力し、[ダイヤル]をクリックします。プロバイダへの接続が始まります。



- 画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

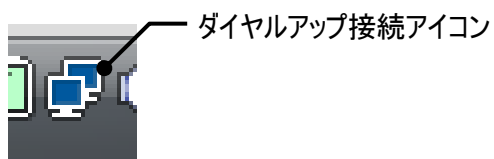
- ③[閉じる]をクリックします。



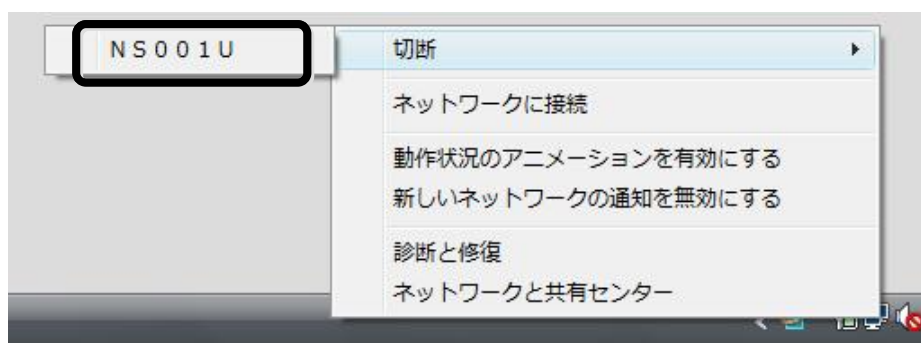
- ④インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

- ①お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを右クリックします。



- ②表示されたメニューの[切断]にカーソルを合わせます。(「プロバイダの各種設定を行う」⇒28ページ)の手順
④で入力した接続先名と同じ接続先(例ではNS001U)をクリックします。



本製品をパソコンから取り外す

- ①接続が終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

セットアップ-Windows 7-

Windows 7 を使用した本製品のセットアップ方法を説明します。



- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、下記をご覧ください。
- ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は [許可] をクリックしてください。

管理者 (Administrator) 権限の確認方法

- ① デスクトップ画面上の [スタート] から [コントロールパネル] を開きます。 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] の [ユーザー アカウントの追加または削除] をクリックします。



- ② [アカウントの管理] 画面が表示されたら、お客様のユーザー名の下に [Administrator] と記載してあることを確認してください。



ドライバのインストール

本製品を利用してデータ通信を行うには、「モデムドライバ」をインストールする必要があります。以降の手順に従って、正しくインストールしてください。



お願い

- セットアップを行う際は、「コンピュータの管理者 (Administrator)」のユーザー名でログオンする必要があります。コンピュータのログオン用に複数のユーザー名を作成している場合にはご注意ください。管理者の権限については、「管理者 (Administrator) 権限の確認方法」⇒39ページをご覧ください。
- ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は [許可] をクリックしてください。

ドライバをインストールする

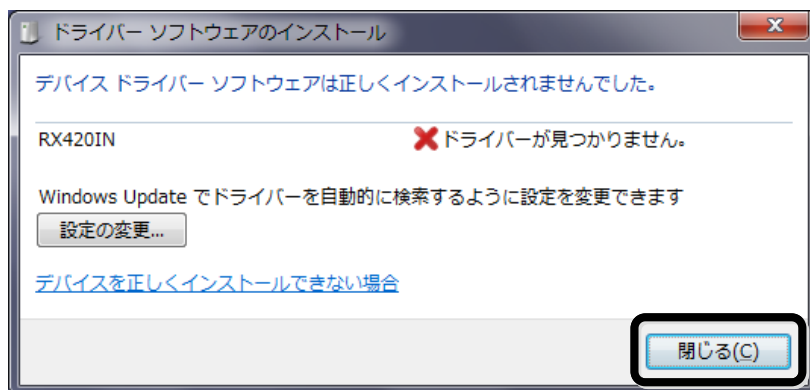
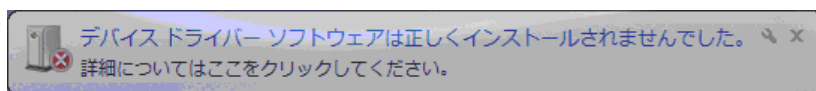
- ① パソコンの電源を ON にし、Windows 7 を起動します。
- ② 本製品をパソコンに接続します。



お願い

- パソコンへの接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。
- 本製品を接続後、他のモデムをインストール済みの場合は、ダイヤルアップ接続画面が表示されることがあります。その場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

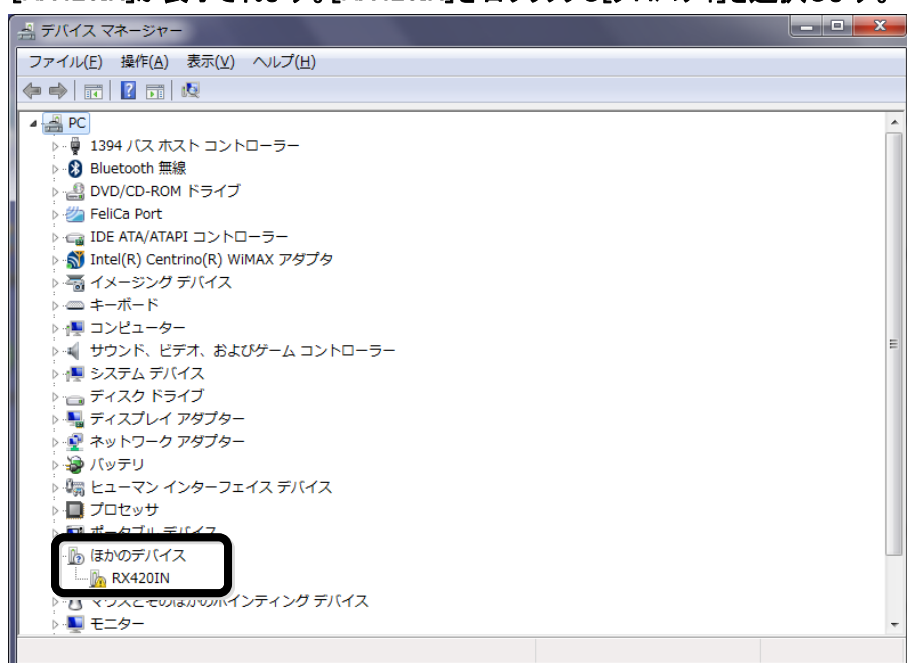
- ③ [デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした] とメッセージが表示されます。これは Windows 7 が自動的にデバイスドライバーをインストールしようとしてドライバーファイルが見つからなかった為です。[閉じる] をクリックします。



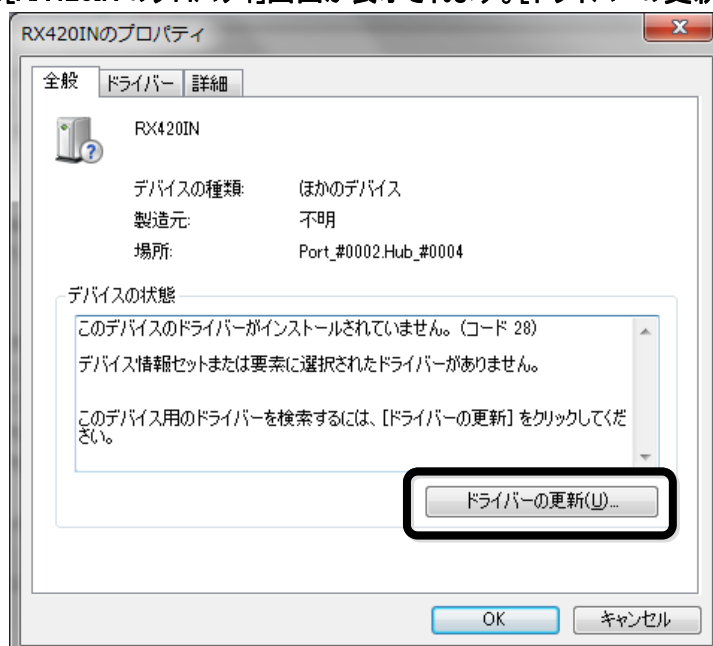
- ④デスクトップ画面の[スタート]から[コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
[システムのプロパティ]画面が表示されたら[デバイスマネージャー]をクリックします。



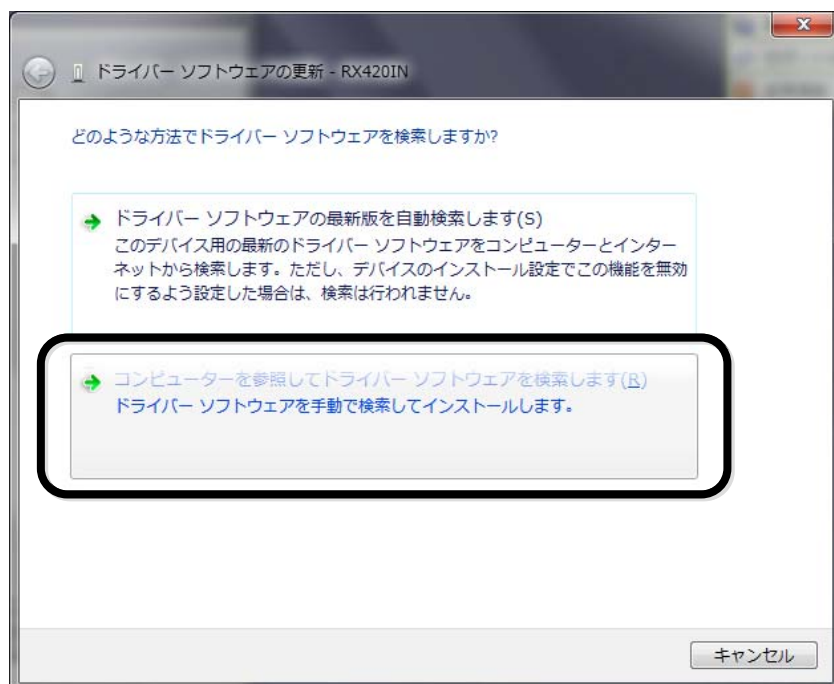
- ⑤[デバイスマネージャー]の一覧が表示されたら、[ほかのデバイス]をダブルクリックします。
[RX420IN]が表示されます。[RX420IN]を右クリックし[プロパティ]を選択します。



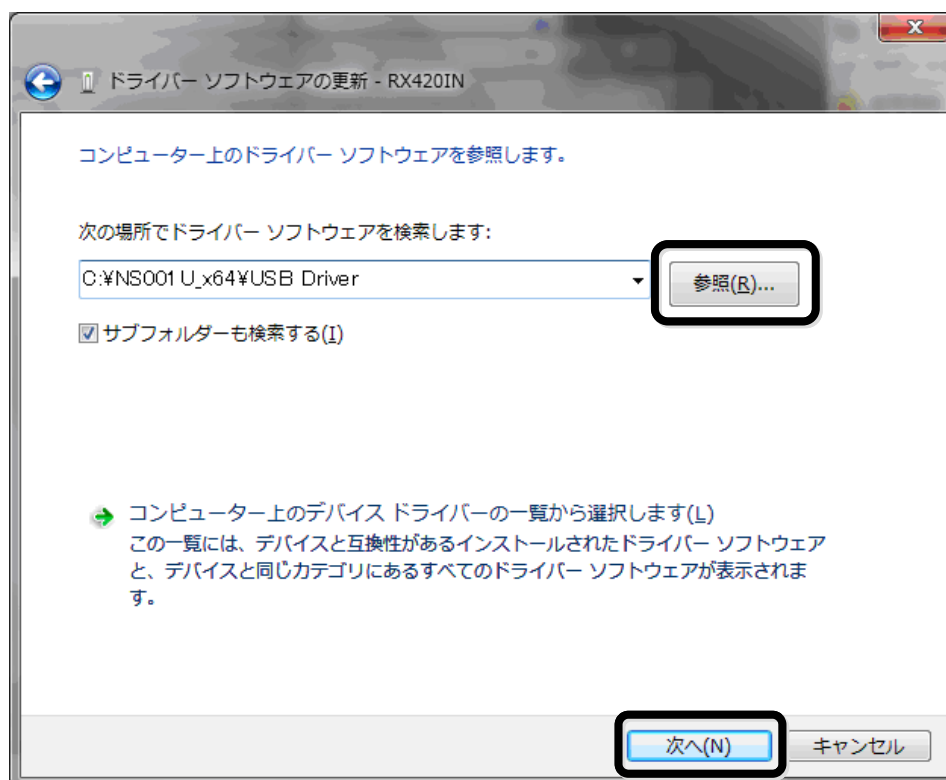
- ⑥[RX420IN のプロパティ]画面が表示されます。[ドライバーの更新]をクリックします。



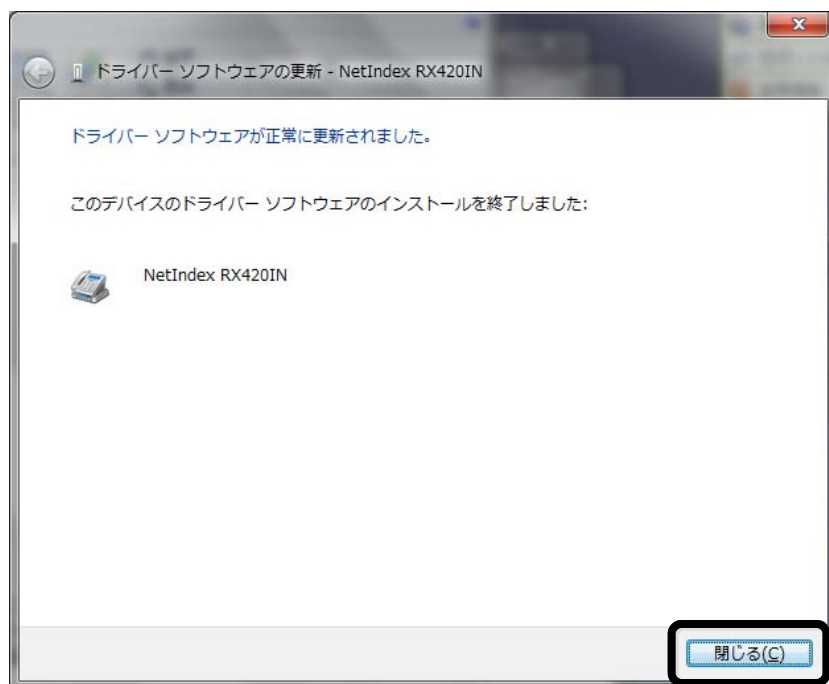
- ⑦[ドライバーソフトウェアの更新]画面が表示されます。[コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)]をクリックします。



- ⑧[参照]をクリックし、「(セットアップを始める前に)⇒8 ページ)でダウンロードした[NS001U_x64]フォルダの中の[USB Driver]フォルダを選択します。[次へ]をクリックします。



⑨ [閉じる]をクリックします。



お願い

- 一度設定すれば、以降は本製品を接続するだけで自動認識されます。認識がうまくいかない場合は(「確認フローチャート」⇒64 ページ)に従って認識動作を行い、再度設定してください。

プロバイダの各種設定を行う

本製品を利用してプロバイダに接続する場合の具体的な設定例について説明します。

ここでは、以下のものが必要となります。

プロバイダの電話番号(アクセスポイント)/DNS アドレス(ネームサーバーアドレス)/ユーザー名/パスワード



お願い

- ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合 Windows 7 のマニュアルをご覧ください。

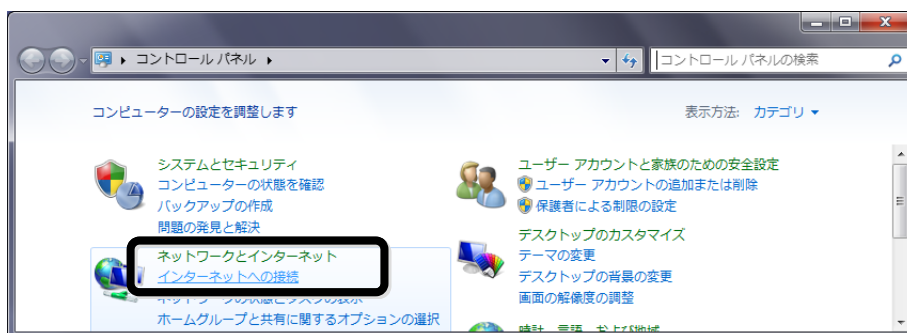


お知らせ

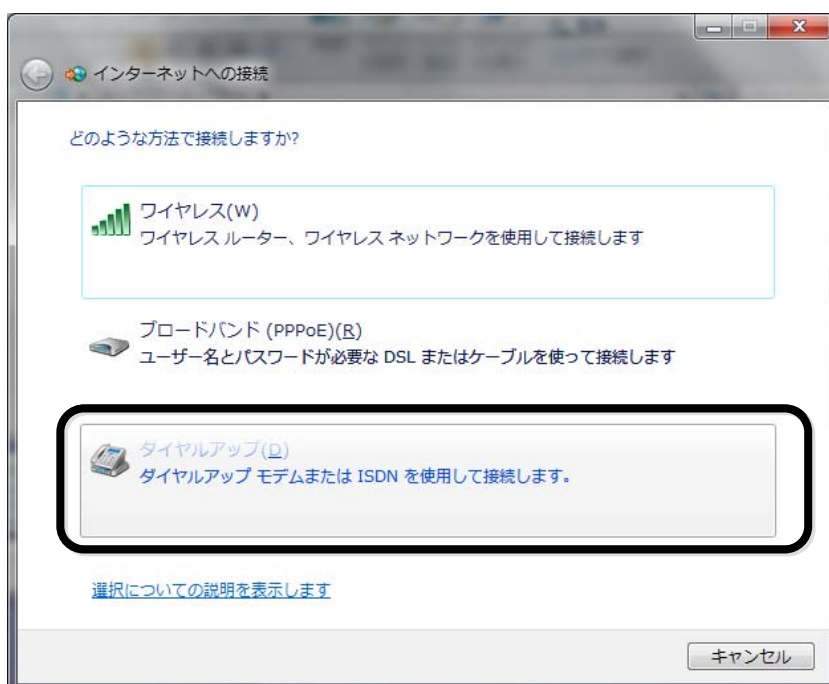
- インターネット簡単接続サービス「PRIN」をご利用になれば、プロバイダに加入されていない方でもすぐにインターネット接続が可能です。

①デスクトップ画面の[スタート]から[コントロールパネル]を開きます。

[ネットワークとインターネット]の[インターネットへの接続]をクリックします。



②[ダイヤルアップ(D)]をクリックします。





お願い

●モデム選択画面が表示された場合は、[NetIndex RX420IN]を選択してください。

③プロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を確認します。電話番号の入力は契約したプロバイダのアクセスポイントの通信方式によって、それぞれ変わってきます。(「通信方式の設定について」⇒4ページ)プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を確認してください。

④各情報を入力します。[ダイヤルアップの電話番号]へ手順③で確認した電話番号を入力します。利用する通信方式に対応した電話番号(例:0570-570-△△△)を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

[ユーザー名]、[パスワード]にはプロバイダから取得した情報を入力してください。

[接続名]はプロバイダの名称や通信方式など(例では NS001U)を入力してください。(ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。)入力後、[接続]をクリックします。



お願い

●電話番号入力時、局番間の - (ハイフン)は入力不要です。

以下のように入力してください。電話番号は例です。

◆32kPIAFS の場合	:0570570△△△##3
◆64kPIAFS(ベストエフォート)の場合	:0570570△△△##4
◆フレックスチェンジ方式の場合	:0570570△△△##7
◆1x パケット方式の場合	:0570570△△△##61
◆2x/4xパケット方式	:0570570△△△##64

●画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の情報を入力します

ダイヤルアップの電話番号(D): 0570570△△△##64 [ダイヤル情報](#)

ユーザー名(U): ××××

パスワード(P): ●●●●

パスワードの文字を表示する(S)

このパスワードを記憶する(R)

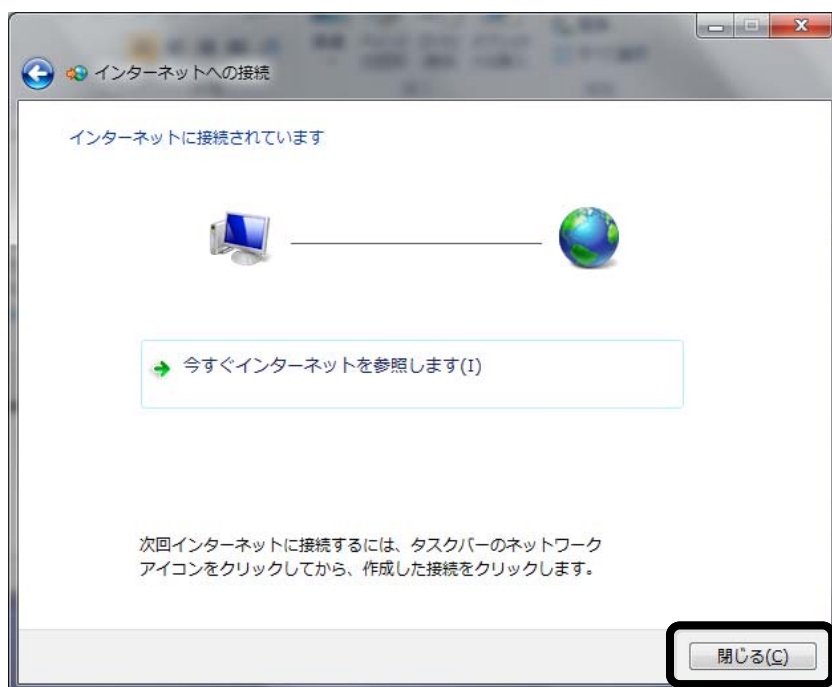
接続名(N): NS001U

他の人がこの接続を使うことを許可する(A)

このオプションによって、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。

[ISPがありません](#)

⑤インターネットに接続されたことを確認し、[閉じる]をクリックします。



お願い

●手順⑤の画面で「インターネット接続テストに失敗しました」と表示された場合は本製品が正しく認識されていない可能性があります。下記手順にて確認を行ってください。

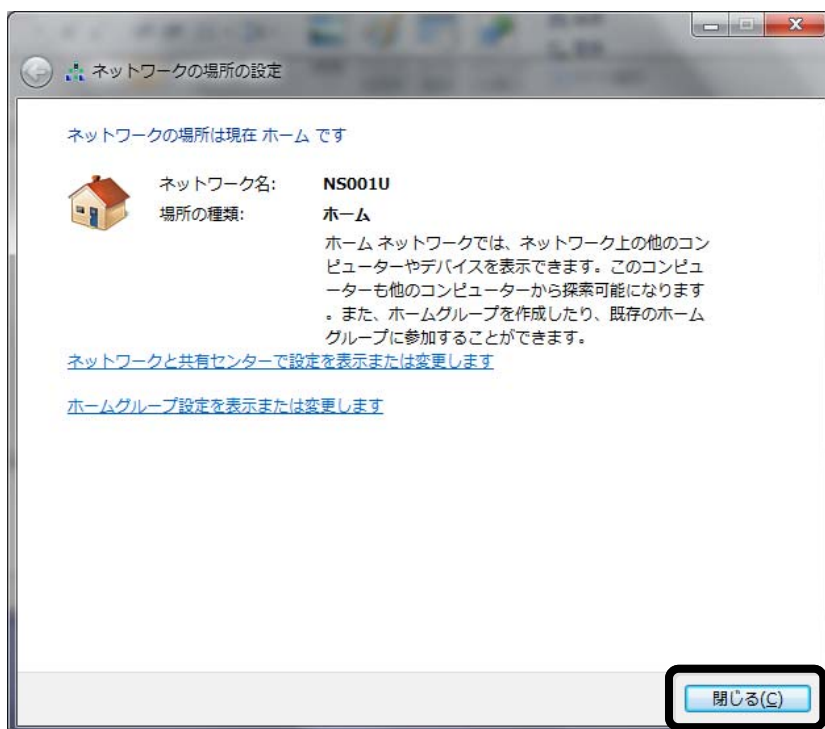
- ①「接続をセットアップします」をクリックし、その後「インターネットへの接続を使用する準備ができました」という画面が表示されますので「閉じる」をクリックしてください。
- ②(「確認フローチャート」⇒64 ページ)にて正しく認識されているか確認を行ってください。

⑥ネットワークの場所を選択します。お客様の使用環境に合わせて任意の場所を選択してください。



- [ネットワークの場所の設定]画面が表示されない場合があります。設定を変更するには、本製品をインターネットに接続した状態で、デスクトップ画面上の[タスクバー]のアンテナアイコンをクリックして→[ネットワークと共有センターを開きます]をクリックします。[ネットワークと共有センター]画面にて[アクティブなネットワークの表示]から現在設定されているネットワークをクリックします。[ネットワークの場所の設定]からお客様の使用環境に合わせた場所を選択してください。

⑦[閉じる]をクリックします。



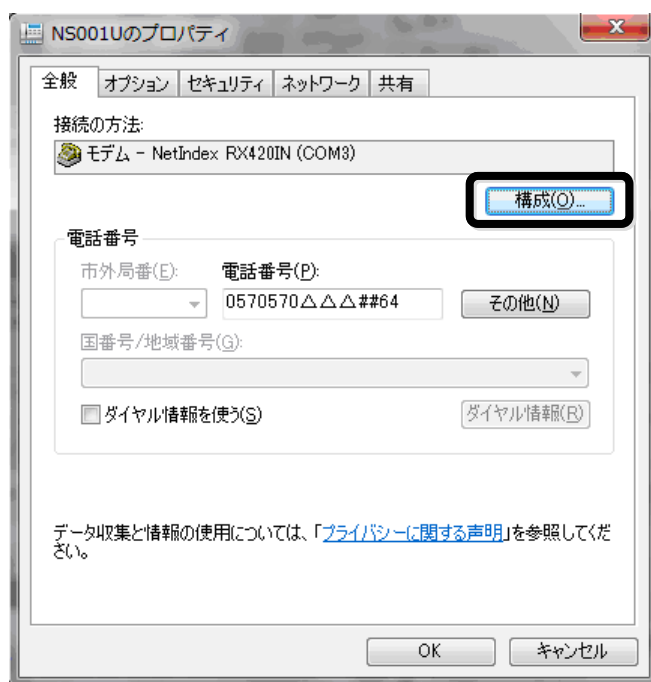
⑧接続を終了します。終了方法については(「接続を終了する」⇒52 ページ)をご覧ください。

⑨デスクトップ画面上の[タスクバー]から[アンテナアイコン]をクリックします。

手順⑤で入力した接続先名と同じ接続先を右クリックし、表示メニューから[プロパティ]をクリックします。



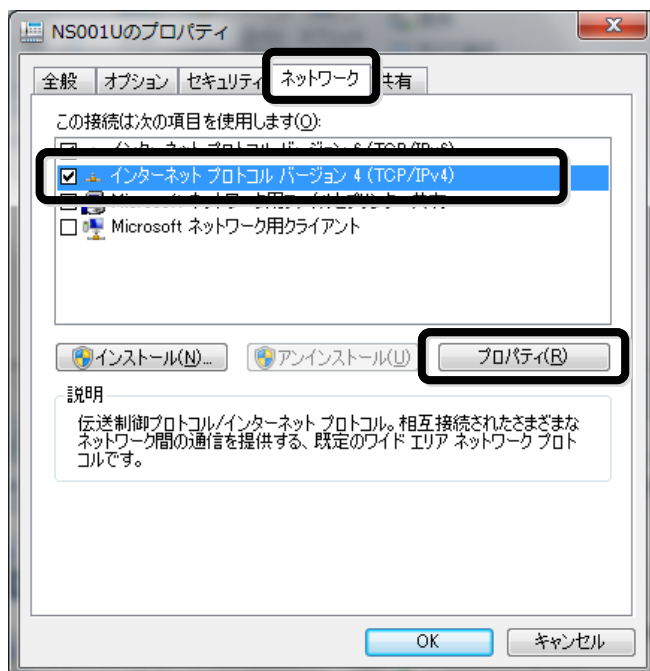
⑩ [NS001Uのプロパティ]画面が表示されます。[構成]をクリックします。



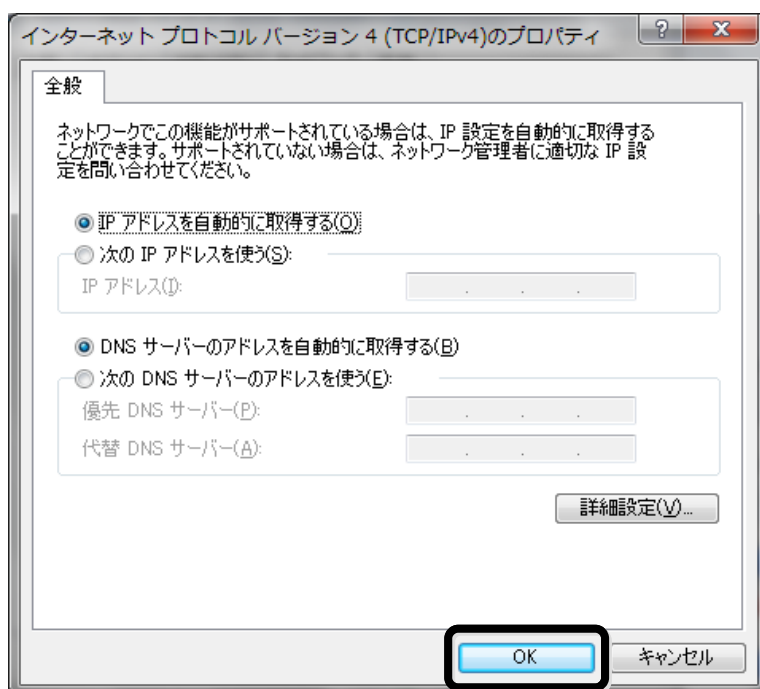
⑪ 最高速度設定を確認します。設定を[300000]に設定し、[OK]をクリックします。



⑫[NS001U のプロパティ]画面で、[ネットワーク]タブを選択します。[この接続は次の項目を使用します]で[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。



⑬プロバイダの指示に従って設定を行ってください。設定が完了したら、続けて[OK]をクリックし、[NS001U のプロパティ]画面を閉じてください。これで設定は完了です。



●プロバイダからネームアドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を指定してください。

インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。
ユーザー名/パスワード/プロバイダの電話番号(アクセスポイント)

- ①デスクトップ画面上的[タスクトレイ]のアンテナバーをクリックします。(「プロバイダの各種設定を行う」⇒44 ページ)の手順④で入力した接続先名と同じ接続先(例ではNS001U)を選択し、[接続]をクリックします。



- ②プロバイダから取得した[ユーザー名]、[パスワード]、[電話番号]を入力し、[ダイヤル]をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。





お願い

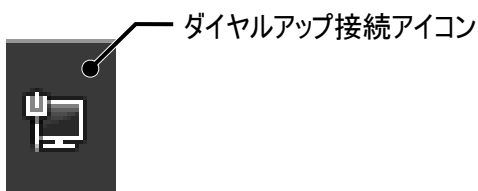
●画像のユーザー名は[××××]となっていますが、実際にはお客様ご自身がプロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

③正常に接続されるとダイアログ表示が閉じられタスクバーのアンテナ表示アイコンが PC アンテナ表示アイコンに変わります。

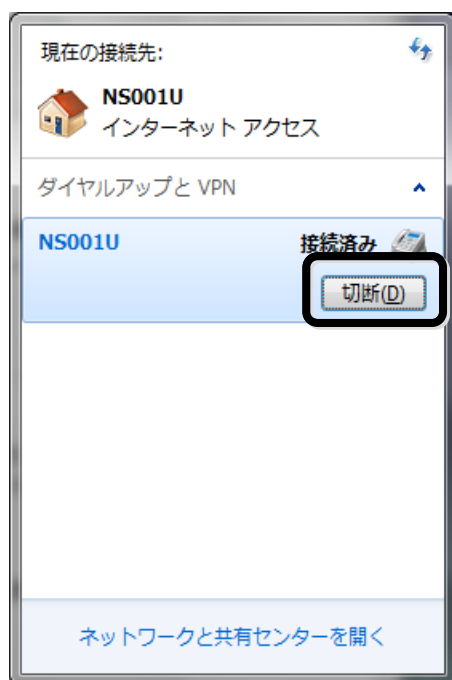
④インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。

接続を終了する

①お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンを右クリックします。



②表示されたメニューの④で入力した接続先名と同じ接続先(例では NS001U)をクリックし、表示された[切断]ボタンをクリックします。



本製品をパソコンから取り外す

①接続が終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

ドライバをアンインストールする

ドライバのアンインストール方法を説明します。

ドライバをアンインストールする

ここでは、Windows XP を使用した方法を説明します。



お願い

- 本製品がパソコンに正しく認識されなかった場合は、本製品のアンインストールを行ってから再度、セットアップを行い、本製品を認識させてください。
- 本製品のパソコンへの接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。

①本製品をパソコンに接続します。

②デスクトップ画面上の[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。[システムのプロパティ]画面が表示されたら、[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



お願い

- [デバイスマネージャ]画面の表示方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。Windows Vista/Windows 7 をお使いの場合は(「設定画面の表示方法」⇒73 ページ)をご覧ください。

③ドライバを削除します。[モデム]をダブルクリックし、[NetIndex RX420IN]を削除します。

④本製品をパソコンから取り外します。



お願い

- 手順③でドライバが表示されていない場合は下記をご確認ください。
 - ・本製品がパソコンに正しく認識されていない場合は、[デバイスマネージャ]の[その他のデバイス]に登録されている可能性があります。[その他のデバイス]をダブルクリックし、登録されているか確認の上、削除してください。
 - ・[モデム]に[NetIndex RX420IN]ドライバが表示されていない場合は、誤って別なもので認識されている可能性があります。[その他のデバイス]をダブルクリックし、登録されているか確認の上、削除してください。

2 章 ユーティリティ

ユーティリティを使用することで、待受け時の受信強度の表示、分計サービス、セキュリティ機能の設定、国際ローミングの設定を行うことができます。詳しくは、「(ユーティリティの機能)⇒57 ページ)をご覧ください。

ユーティリティのセットアップ

ここでは、ユーティリティのセットアップ方法を説明します。
画面は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

Windows の場合

セットアップ画面は、Windows XP の画面を掲載して説明します。Windows Vista/Windows 7 においても手順は同様です。



お願い

●Windows Vista/Windows 7 のセットアップを行う際、ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は[許可]をクリックしてください。

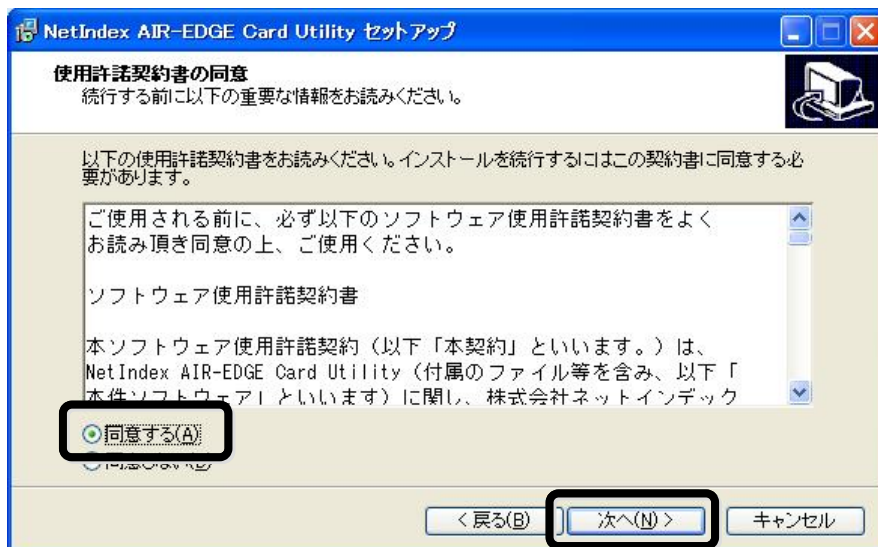
①(「セットアップを始める前に」⇒8 ページ)でダウンロードした[NS001U_x64]フォルダの中の[Utility]フォルダを開き、その中の[setup]をダブルクリックします。



②[NetIndex AIR-EDGE Card Utility セットアップ]が起動します。[次へ]をクリックします。



③ [使用許諾契約書]の内容をご確認の上、[同意する]を選択します。[次へ]をクリックします。



④ インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。



⑤ [インストール]をクリックします。インストールが開始されます。



⑥[完了]をクリックします。



⑦セットアップは完了です。ユーティリティを起動するには、本製品をお使いのパソコンに接続した状態で、デスクトップ画面上の[スタート]から[すべてのプログラム]→[NetIndex AIR-EDGE Card Utility]→[AIR-EDGE Card Utility]を選択します。終了時には[終了]ボタンをクリックします。

ユーティリティの機能

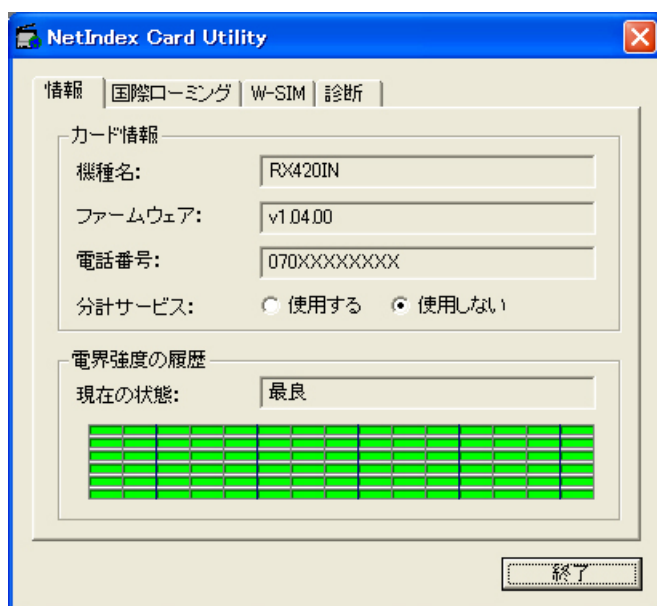
ここでは、ユーティリティの機能、使用方法について説明します。ユーティリティ画面は、表示例として Windows XP の画面を掲載しています。また、画面は改良のため予告なく変更する場合があります。



- ユーティリティは本製品をお使いのパソコンに接続した状態でお使いください。
- ユーティリティ動作中はダイヤルアップ接続を開始できません。接続を開始する前に必ずユーティリティを終了してください。また、ダイヤルアップ接続中はユーティリティを使用できません。

通信設定機能

ユーティリティの[情報]タブ画面について説明します。



メニュー	概要
機種名表示	本製品に接続された W-SIM の機種名を表示します。
ファームウェアバージョン表示	本製品に接続した W-SIM のファームウェアのバージョンを表示します。 最新のファームウェアバージョン、およびバージョンアップにつきましては当社ホームページをご覧ください。 URL: http://www.netindex.co.jp/
電話番号表示	本製品に接続した W-SIM に登録されている電話番号を表示します。
分計サービス設定	分計サービスを使用するかどうかを設定します。初期値は[使用しない]に設定されています。(「分計サービス設定について」⇒5 ページ)
電界強度の履歴	お客様がお使いの環境において、本製品に対する電波状況がどのようになっているかが確認できます。[圏外]表示の時は通信できません。

国際ローミング機能



- 国際ローミングサービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

ウィルコムサービスセンター

データ通信窓口		
受付時間	年中無休	9:00～20:00
電話番号	ウィルコムの電話/通信機器から	局番なしの 157
	一般加入電話/公衆電話/携帯電話から	0120-921-157

W-SIM セキュリティ機能

W-SIM には「PIN コード」、「PUK コード」という 2 種類の暗証番号があり、これら 2 つのコードによりユーザー固有データと第 3 者不正使用に対する強力なセキュリティ機能を実現しています。

ご購入時は、「PIN コード」が設定されておりません。お客様が任意の「PIN コード」を設定することが可能です。本ドライバーには「PIN コード」自動解除機能が有りません。PIN ロック機能が有効になっている場合はダイヤルアップ接続はエラー 692、628 で失敗します。

本ユーティリティにて予め PIN コードを解除した上でお使い下さい。



- 設定した「PIN コード」は、メモを取るなどして忘れないようご注意ください。
- ロック機能を解除する際、「PIN コード」の入力を 10 回連続して間違えると本製品のすべての機能がロックされ、PUK ロック状態となります。
PUK ロック状態を解除するには、「PUK コード」の入力が必要です。「PUK コード」は W-SIM の保証書に記載されています。「PUK コード」を忘れた場合は、有償修理での対応となりますので、「ウィルコムサービスセンター」⇒58 ページへお問い合わせください。

ロック機能を有効にする

- ①ユーティリティの[W-SIM]タブをクリックします。[セキュリティ設定]で[ロック機能有効]を選択します。
- ②[新規 PIN コード]に 4~16 桁の範囲で、任意のコードを入力し、[新規 PIN コード(確認)]に同じコードを入力します。[適用]をクリックします。



PINコードを変更する

- ①ユーティリティの[W-SIM]タブをクリックします。[セキュリティ設定]で[PINコード変更]を選択します。
- ②[PINコード]に設定した PIN コードを入力します。
- ③[新規 PIN コード]、[新規 PIN コード(確認)]に変更後の PIN コードを入力します。[適用]をクリックします。



ロック機能を無効にする

- ①ユーティリティの[W-SIM]タブをクリックします。[セキュリティ設定]で[ロック機能無効]を選択します。
- ②[PINコード]に設定したPINコードを入力します。[適用]をクリックします。



ロック機能を解除する

ロック機能が有効の状態では本製品をパソコンに接続すると、セキュリティの解除を求める画面が表示されます。

- ①[PINコード]に設定したPINコードを入力します。
- ②[解除]をクリックします。



PUK ロックを解除する

ロック機能が有効の状態です「PIN コード」の入力を 10 回連続して間違えると、本製品の機能が一切ロックされ、PUK ロック状態となります。

- ① [PUK ロック解除] 画面が表示されます。[PUK コード] に PUK コードを入力します。[新規 PIN コード] に新たな任意のコードを入力し、[新規 PIN コード(確認)] に同じコードを入力します。
[適用] をクリックします。



診断機能

お客様がお使いのパソコン/本製品/ネットワークについて診断を行う事ができます。

- ① ユーティリティの [診断] タブをクリックします。[診断開始] をすると [詳細な診断結果] に診断結果が表示されます。



3 章 困ったときに

本製品が動作しない場合の確認事項

本製品が正常に動作しない場合は、まず以下の項目を確認してください。確認しても動作しない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

(「お問い合わせ先」は、付属の「簡易取扱説明書」の「お問い合わせ先」をご覧ください。)

症状	確認内容
本製品を差し込んでもパソコンが全く反応しない	<ul style="list-style-type: none">■本製品が正しく接続されていない可能性があります。本製品をもう一度、奥までしっかりと差込み、接続してください。■省エネタイプのパソコンでは本製品への電源を OFF にしているものがあります。パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。■本製品のドライバが正常に機能していない可能性があります。ドライバが正しく設定されていることを確認の上、本製品をパソコンへ接続してください。(「確認フローチャート」⇒64 ページ)
本製品をパソコンに認識させたのに通信ソフトから使えない	<ul style="list-style-type: none">■本製品に W-SIM が正しく接続されていることを確認してください。W-SIM の接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。■本製品がパソコンに正しく認識されているか確認してください。(「確認フローチャート」⇒64 ページ) さらに手順に従って各項目を確認してください。
ダイヤルアップなどの通信ソフトがうまく動かない	<ul style="list-style-type: none">■途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。■パソコンの電源を一度 OFF にし、再度電源を ON にしてください。■パソコンの電池を確認してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。
通信できない、(発信できない) 発信するとすぐ切れてしまう	<ul style="list-style-type: none">■通信方式の種類・電話番号、ユーザー名、パスワードなどの英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)など入力されていないか、ご確認ください。(「設定画面の表示方法」⇒73 ページ)■本製品に W-SIM が正しく接続されていることを確認してください。W-SIM の接続方法については、付属の「簡易取扱説明書」の「本製品の使用方法」をご覧ください。■別のモデムが認識されている可能性があります。[接続]のプロパティにて [NetIndex RX420IN] にチェックが付いているか確認し、それ以外のモデムにチェックがある場合は、チェックを外してください。■お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。しばらくしてから再度発信してみてください。

症状	確認内容
<p>通信できない、 (発信できない) 発信するとすぐ切れてしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 発信通知設定を[通知しない]に設定すると、プロバイダによっては通信できない可能性があります。(「セットアップを始める前に」⇒8ページ)でダウンロードした[NS001U_x64]フォルダの中の「ATコマンドリファレンスマニュアル」をご覧の上、確認してください。 (「ATコマンドリファレンス」⇒70ページ)なお、設定方法については、(「発信者番号通知機能の設定」⇒72ページ)をご覧ください。 ■ W-SIMのロック機能が有効、またはPUKロック状態になっている可能性があります。ロック機能の設定を確認してください。 (「W-SIMセキュリティ機能」⇒58ページ) ■ モデムの最高速度が[300000]に設定されているか確認してください。
<p>通信速度が遅く感じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通信方式の設定が正しくない可能性があります。(「通信方式の設定について」⇒4ページ)また、電話番号の入力方法を確認してください。(「設定画面の表示方法」⇒73ページ)
<p>データ通信時、つながるとすぐきれてしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類、電話番号、ユーザー名、パスワードなどを確認してください。設定の内容は利用されているプロバイダに、また英数字の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)など入力されていないか合わせてご確認ください。(「設定画面の表示方法」⇒73ページ) ■ ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定に間違いが無いか確認してください。(「設定画面の表示方法」⇒73ページ) ■ 発信通知設定を[通知しない]に設定すると、プロバイダによっては通信できない可能性があります。(「セットアップを始める前に」⇒8ページ)でダウンロードした[NS001U_x64]フォルダの中の「ATコマンドリファレンスマニュアル」をご覧の上、確認してください。(「ATコマンドリファレンス」⇒70ページ)なお、設定方法については、(「発信者番号通知機能の設定」⇒72ページ)をご覧ください。

注意事項

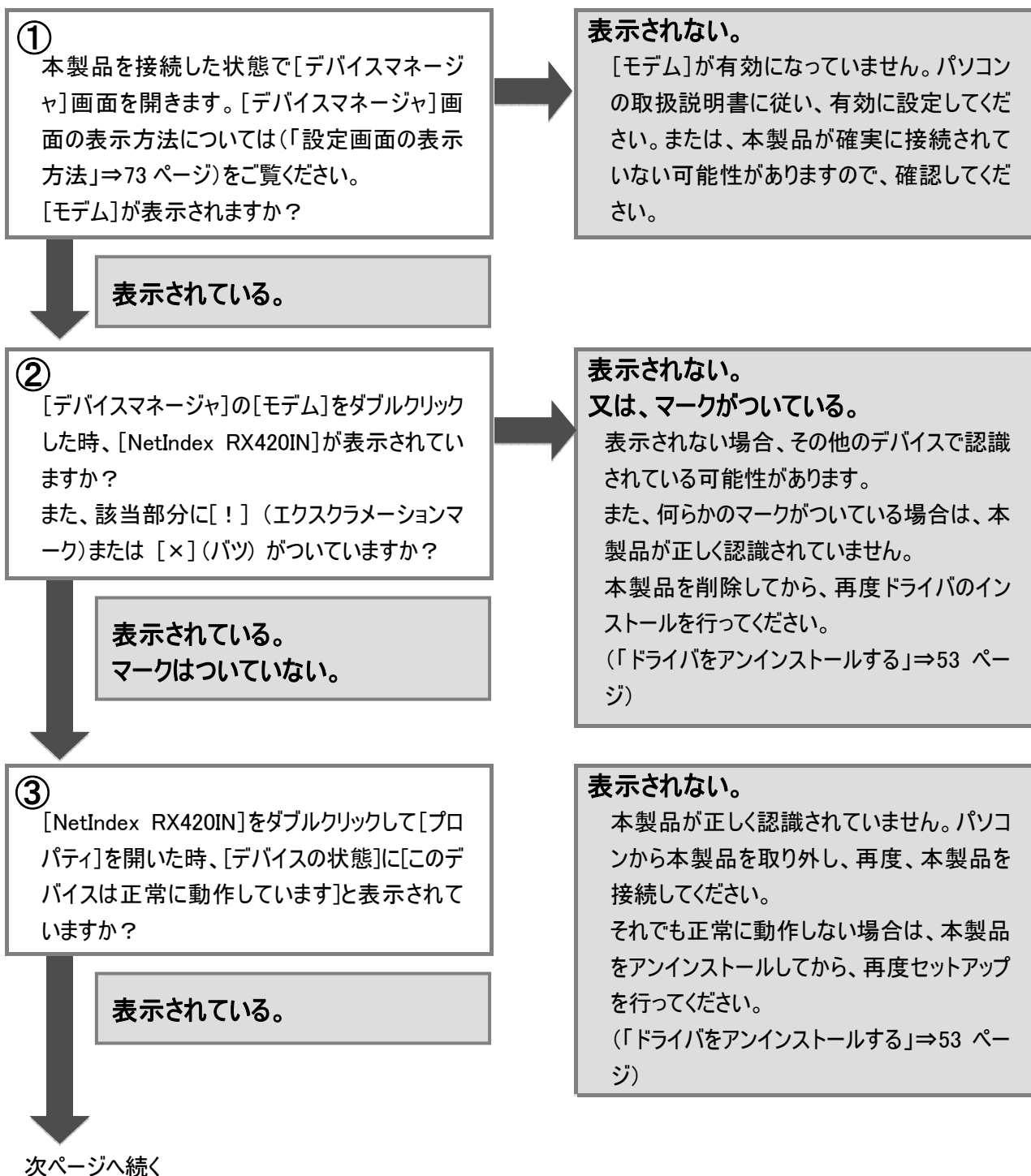
ダイヤルアップ接続中のままスリープまたは休止状態に移行しないで下さい。レジューム後、ダイヤルアップが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンをスリープまたは休止状態に移行する場合、ダイヤルアップ接続を切断してから実行するようにして下さい。

問題が発生した場合には、本製品の取り外しを行い、再度パソコンに装着しなおして下さい。

確認フローチャート

ここでは、Windows の場合の確認事項を説明します。他の使用環境のものに関しては当社サポートデスクにお問い合わせください。

(「お問い合わせ先」は、付属の「簡易取扱説明書」の「お問い合わせ先」をご覧ください。)



④
一度[プロパティ]を閉じてください。次に、「AT
コマンドの入力方法例」⇒70 ページ)の手順
①～⑤でターミナルソフトを起動し、入力フィー
ルドに[ati4]と入力してEnterキーを押してくださ
い。

[RX420IN OK]が返送された。

文字が入力できない。

パソコンの設定によっては、文字が表示され
ないだけの場合があります。[atz]と入力して
Enter キーを押し、再度[ati4]と入力してみ
てください。それでも入力できないときは、本
製品が正しく認識されていない可能性があ
ります。再度本製品の認識動作を行ってくだ
さい。

[RX420IN OK]以外の文字列が返送 された。

モデムの選択で違うモデムを指定していま
す。[NetIndex RX420IN]を選択してくださ
い。それでも同じ状態であれば、確認手順
③、④を再度確認後、すべてのモデム設定
を削除し、再度セットアップを行ってください。

⑤
Atd(アクセスポイントの電話番号)##mnと入
力して Enter キーを押してください。
(##mnの設定は通信方式ごとに異なります。
(「通信方式の設定について」⇒4 ページ))

[connect]が返送された。

[connect]以外の文字列が返送された。

通信設定が間違っています。再度設定しな
おしてください。

[ERROR]と表示された。

W-SIMのロック機能が有効に設定されてい
る可能性があります。ユーティリティを起動
し、ロック機能を無効に設定してください。設
定方法については(「W-SIMセキュリティ機
能」⇒58 ページ)をご覧ください。

NO CARRIERと表示された。

アクセスポイントの電話番号が正しいか、お
客様ご自身の契約内容とあわせ確認してく
ださい。また[アクセスポイントの通信方式]と
[通信方式の設定]が正しいか確認の上、
再度[atd]アクセスポイントの電話番号
[##mn]を入力してみてください。

※アクセスポイントの混雑なども考えられま
すので、数回行ってみてください。

次ページへ続く

⑥ メニューバーの[ファイル]→[ハイパーターミナルの終了]をクリックして、ハイパーターミナルを終了し、ユーティリティをインストールしてください。(「ユーティリティのセットアップ」⇒54 ページ)インストール後、ユーティリティを起動し、[情報]タブの[電話番号]を確認してください。

電話番号が正しく表示されている。

本製品の認識(セットアップ)に問題がなく、通信可能な状態です。

電話番号が正しく表示されていない。

本製品が正しく認識されていません。パソコンから本製品を取り外し、再度本製品を接続してください。ユーティリティにて電話番号を確認してください。上記を数回繰り返しても電話番号が正しく表示されない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。(「お問い合わせ先」は、付属の「簡易取扱説明書」の「お問い合わせ先」をご覧ください。)

よくある質問

ここではよく寄せられる質問について、その例を示します。

仕様について

Q1:どのパソコンに接続して通信ができますか？

A:USB インターフェースを装備したパソコンでご利用いただけます。なお、最新の動作確認機種については当社ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.netindex.co.jp/>

Q2:動作確認機種に記載されていないパソコン、OSでも本製品は使用できますか？

A:動作確認機種に関しましては、実際のパソコンを使用しての確認を行っています。従って、当社で確認できていない機種についてはホームページへの記載を行っておりませんが、ハード的に問題ない場合は対応 OS 搭載機種では動作する可能性があります。

Q3:本製品にUSBメモリーとしての機能はありますか？

A:本製品にUSBメモリーとしての機能はありません。

Q4:消費電流はどのくらいですか？

A:付属の「簡易取扱説明書」の「仕様」をご覧ください。

Q5:USBハブを経由して接続できますか？

A:USBハブを経由して本製品を使用する場合、USBハブにより正常に動作しない場合がありますので、すべてのUSBハブに対する動作は保証しかねます。本製品をご使用になる場合は、パソコンのUSBポートに直接接続することをお勧めします。

機能について

Q1:無線モデム、FAX、無線インターネットに対応していますか？

A:対応しておりません。

Q2:家庭モード、トランシーバモードに対応していますか？

A:対応しておりません。

Q3:本製品で音声通話はできますか？

A:音声通話はできません。

Q4: ユーティリティソフトで何ができますか？

A: 本製品に接続した W-SIM の機種名、電話番号表示、待ち受け時の電波状態表示、診断機能、分計サービスの設定、ロック機能の設定、国際ローミングの設定がご利用になれます。
詳しくは、「[ユーティリティの機能](#)」⇒57 ページ)をご覧ください。



●お客様がお使いの場所にて電波状況を確認するには本ユーティリティソフトが便利です。本製品をお使いのパソコンに接続した状態でユーティリティソフトを起動することによりひと目で電波状況がわかります。

Q5: 分計サービスとは何ですか？

A: ([「分計サービス設定について」](#)⇒5 ページ)をご覧ください。

Q6: W-SIM のバージョンの確認方法を教えてください。

A: ユーティリティから確認することができます。([「ユーティリティの機能」](#)⇒57 ページ)をご覧ください。

Q7: PIN コード、PUK コードとは何ですか？

A: ([「W-SIMセキュリティ機能」](#)⇒58 ページ)をご覧ください。

Q8: 通信状態を表示する LED が無いため、通信状態を確認することができません。

A: 通信状態は、下記手順で確認することができます。

Windows XP:

お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンをダブルクリックします。通信状態を確認する画面が表示されます。

Windows Vista:

お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンをクリックし、表示されたメニューから[ネットワークと共有センター]をクリックします。[ネットワークと共有センター]画面で[状態の表示]をクリックすると、通信状態を確認する画面が表示されます。

Windows 7:

お使いのパソコンの画面右下に表示されるダイヤルアップ接続アイコンをクリックし、表示されたメニューから[ネットワークと共有センター]をクリックします。[ネットワークと共有センター]画面で[状態の表示]をクリックすると、通信状態を確認する画面が表示されます。

セットアップについて

Q1: インストール中にコード 10「このハードウェアのインストール中に問題がありました。このデバイスを開始できません」と表示されインストールができません。

A: コード 10 表示はパソコンの IRQ 割込み要求に関するエラーメッセージですので、パソコン側での対処が必要となります。コード 10 詳細、対処方法に関しては、パソコンメーカーにお問い合わせください。各パソコンメーカーによっては、エラーコード 10 表示に関する対処方法 (BIOS のアップデートおよびリソース設定変更など) がホームページで公開されています。

Q2: 接続時、「エラー678 リモートコンピュータが応答しませんでした」の表示がされ、接続ができません。どうすればよいでしょうか？

A: 接続設定にて、本製品のご契約コースに対応していないアクセスポイントの電話番号が設定されている可能性がありますので再度、確認してください。アクセスポイントの電話番号に関しましては、お客様がご契約されているプロバイダにより異なりますので、各プロバイダにお問い合わせください。

その他

Q1: 外では本製品を使用し、家や会社ではその他の接続をしたい。

A: インターネットエクスプローラなどのブラウザを起動してください。[ツール]→[インターネットオプション]画面を開き、[接続]タブを選択します。
[ネットワーク接続が存在しないときはダイヤルする]を選択し、[OK]をクリックします。

Q2: 解約や契約の変更、修理をしたいのですが、どうしたらよいでしょうか？

A: ご契約、修理の詳細、お近くのサービス拠点につきましては、「ウイルコムサービスセンター」⇒58 ページへお問い合わせください。

4 章 付録

AT コマンドリファレンス

データ通信を行うために、本製品をパソコンから制御するためのコマンドについて説明します。

本製品を制御するコマンドは、米国 Hayes 社の[AT コマンド]と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。通常は、通信ソフトが AT コマンドを発行しますので AT コマンドを意識する必要はありません。独自に本製品を制御したい場合は、AT コマンドを制御できる通信ソフト(ハイパーターミナルなどのターミナルソフト)をご用意ください。

なお、各コマンドの詳細については、「AT コマンドリファレンスマニュアル」をご覧ください。

「ATコマンドリファレンスマニュアル」は、「(「セットアップを始める前に」⇒8 ページ)でダウンロードした [NS001U_x64] フォルダの中の [AT Command] フォルダに格納されています。

AT コマンドの入力方法例

ここでは、通信ソフトとして Windows XP のハイパーターミナルを利用して、AT コマンドを入力する方法を説明します。



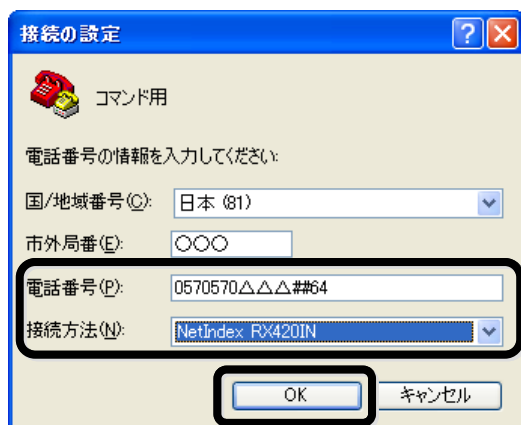
●Windows Vista/Windows 7 には、ハイパーターミナルが搭載されておりません。他の通信ソフトをご利用ください。

①デスクトップ画面上の[スタート]から[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]の順に開き、ハイパーターミナルを起動します。

②[接続の設定]画面内の[名前]に任意の名前を入力し、[OK]をクリックします。(例ではコマンド用)



- ③ [電話番号]にプロバイダから取得したアクセスポイントの電話番号を入力します。[接続方法]は[NetIndex RX420IN]を選択してください。[OK]をクリックします。



- ④ [接続]画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックしてください。



- ⑤ [AT]と入力しEnterキーを押したとき、[OK]と表示されたら、準備は完了です。独自の設定に変更してください。

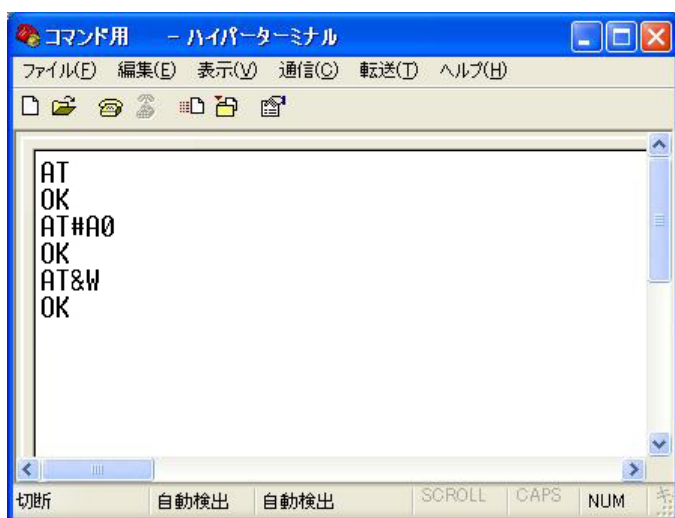


発信者番号通知機能の設定

相手側に対して、本製品の電話番号を通知するかどうかを設定できます。初期値は[通知する]に設定されています。ハイパーターミナルを使用して設定方法を説明します。

発信者番号を<通知しない>に設定する場合

- ①(「ATコマンドの入力方法例」⇒70 ページ)の手順①～⑤までの操作を行い、[OK]と表示されたことを確認します。
- ②[AT#A0]と入力し、Enter キーを押します。[OK]と表示されます。
- ③[AT&W]と入力し、Enter キーを押します。[OK]と表示されます。



これで、設定は完了です。

発信者番号を[通知する]に設定する場合は、上記設定手順②で[AT#A1]、手順③で[AT&W]と入力してください。



お願い

- [通知しない]に設定するとプロバイダによっては通信できない可能性があります。「ATコマンドリファレンスマニュアル」をご覧ください。

設定画面の表示方法

ここでは、各種設定画面の表示方法をパソコンの OS ごとに説明します。



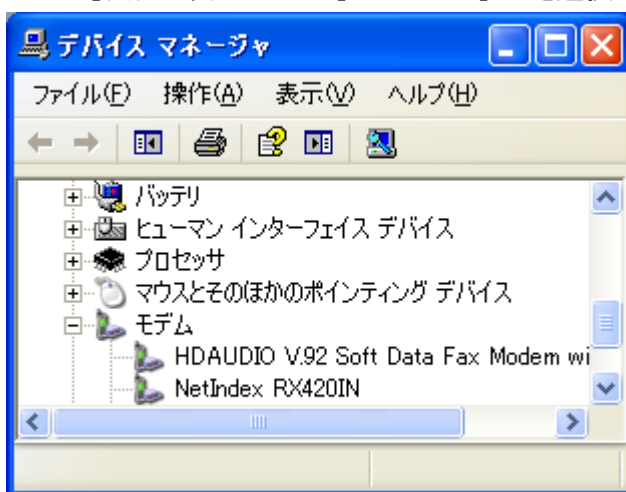
お知らせ

●接続アイコンの接続名は、セットアップの際に入力した名前となります。

Windows XP

◆デバイスマネージャ画面

デスクトップ画面上の[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。[システムのプロパティ]画面が表示されたら[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



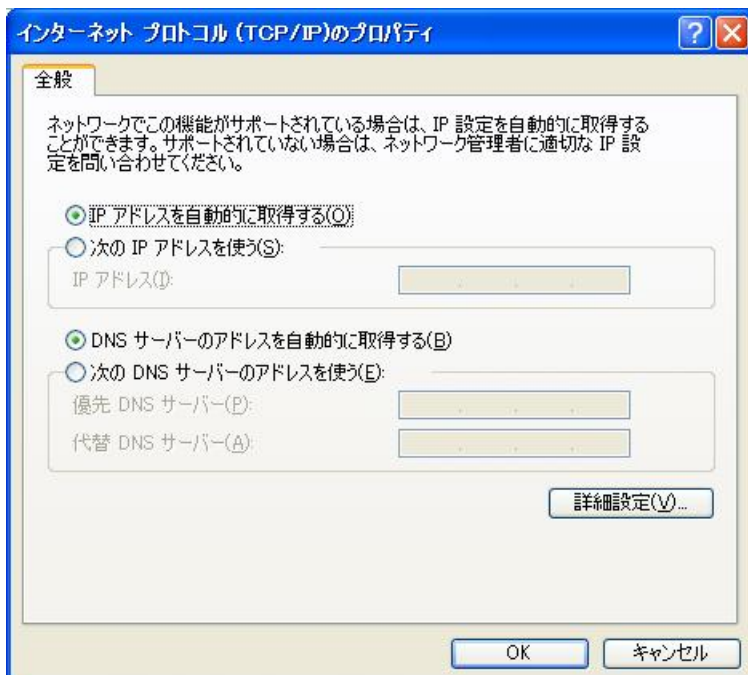
◆ユーザー名/パスワード/電話番号

デスクトップ画面上の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。接続アイコンをダブルクリックします。



◆インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面上の[スタート]から[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]画面を開きます。接続アイコンをダブルクリックします。プロパティをクリックし、[ネットワーク]タブを選択します。インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し、[プロパティ]をクリックします。



Windows Vista

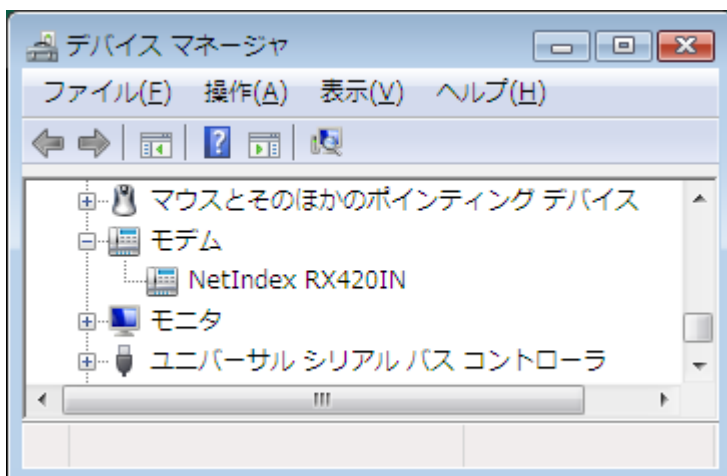


お知らせ

- Windows Vista にて[デバイスマネージャ]画面を表示する際に、ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は[続行]をクリックしてください。

◆デバイスマネージャ画面

デスクトップ画面上の[スタート]から[コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。[システムのプロパティ]画面が表示されたら[デバイスマネージャ]をクリックします。



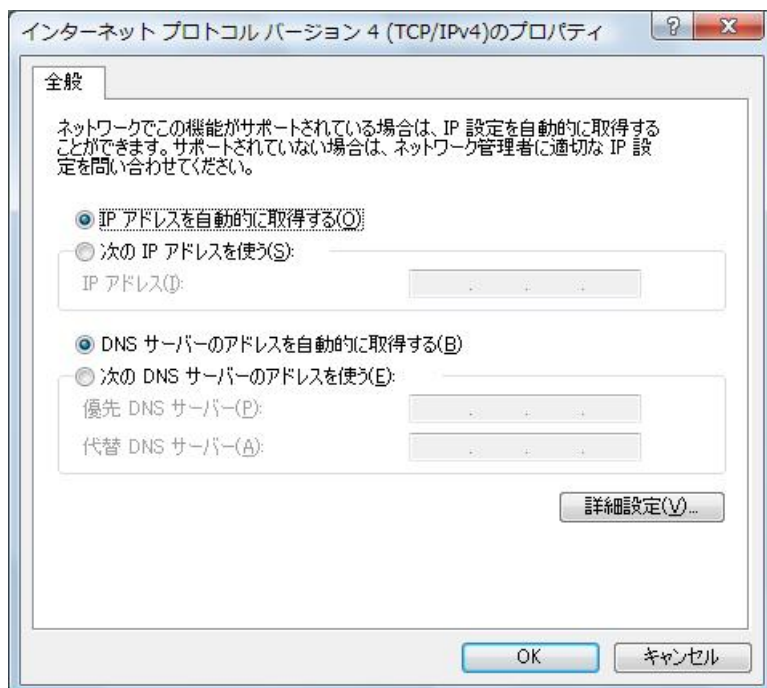
◆ユーザー名/パスワード/電話番号

デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]画面を開きます。接続先を選択し、[接続]をクリックします。または接続先をダブルクリックします。



◆インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面上の[スタート]から[接続先]画面を開きます。接続先を選択し、[接続]をクリックします。または接続先をダブルクリックします。[プロパティ]をクリックし、[ネットワーク]タブを選択します。[この接続は次の項目を使用します]で[インターネットプロトコルバージョン 4]を選択した状態で、[プロパティ]をクリックします。



Windows 7

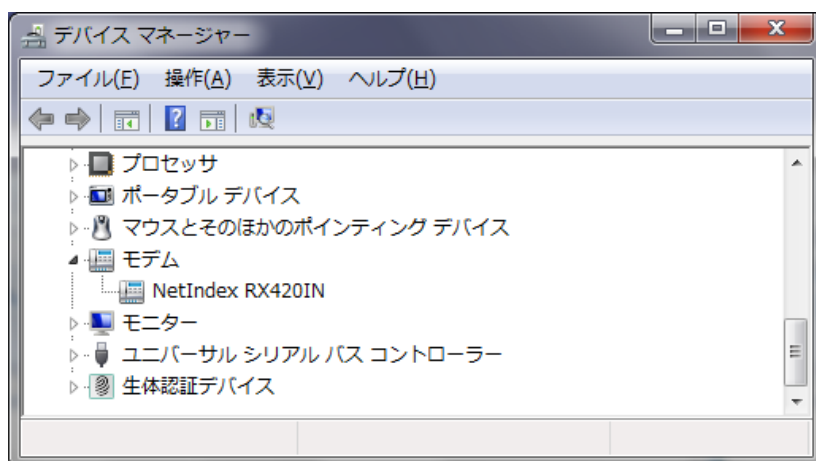


お知らせ

- Windows 7にて[デバイスマネージャー]画面を表示する際に、ユーザーアカウント制御により許可を求める画面が表示される場合があります。その場合は[続行]をクリックしてください。

◆デバイスマネージャ画面

デスクトップ画面上の[スタート]から[コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。[システム]画面が表示されたら[デバイスマネージャー]をクリックします。



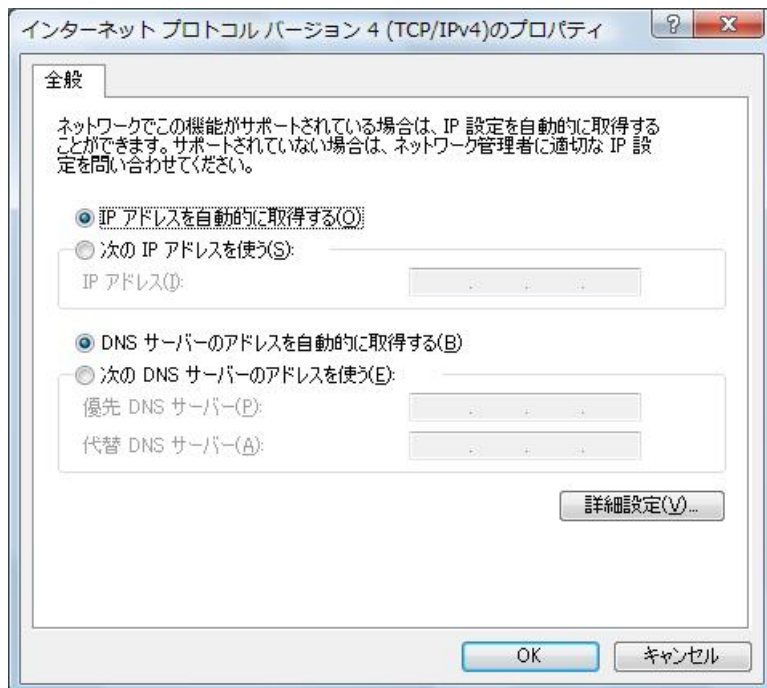
◆ユーザー名/パスワード/電話番号

デスクトップ画面上の[タスクトレイ]のアンテナバーをクリックします。開いた画面から接続先を選択し、[接続]をクリックします。



◆インターネットプロトコル(TCP/IP)

デスクトップ画面上の[タスクトレイ]のアンテナバーをクリックします。開いた下記の画面から接続先を選択し、[接続]をクリックします。[プロパティ]をクリックし、[ネットワーク]タブを選択します。[この接続は次の項目を使用します]で[インターネットプロトコルバージョン 4]を選択した状態で、[プロパティ]をクリックします。



用語集

AT コマンド

米国 Hayes 社の[AT コマンド]と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。AT コマンドは、アテンションコードである‘AT’と、引き続く文字によるコマンドから構成されます。

bps

Bit Per Second の略です。情報をやりとりするスピードの単位で、1 秒間に送信できるビット数を表します。

DTE 速度

パソコンからモデムまでの通信速度のことをいいます。

ISP

Internet Service Provider の略称でプロバイダと同じです。

USB1.1

Universal Serial Bus の略です。パソコンのインターフェースの規格です。データ転送速度は、12Mbps (フルスピードモード)と 1.5Mbps (ロースピードモード)があります。

1xパケット方式

データをパケット単位に分割して効率的に送る通信方式です。

2xパケット方式

1x パケット方式を 2 チャンネル束ねて増速する通信方式です。

32kPIAFS

PHS データ通信標準規格の通信方式です。ISDN 回線に接続された PIAFS 対応のターミナルアダプタ(TAP)などに接続することにより 32kbps のデータ通信が可能です。

4xパケット方式

1x パケット方式を 4 チャンネル束ねて増速する通信方式です。

64kPIAFS (ベストエフォート)

基地局の利用状況により通信速度を 32/64kbps からフレキシブルに選択、通信がつながりやすく、切断されにくい環境を実現するものです。

ISDN 回線に接続されたベストエフォート方式のターミナルアダプタ(TAPB)などに接続することで最大 64kbps の高速データ通信が可能です。

アクセスポイント

プロバイダが用意しているインターネットへの入口です。インターネットを利用するには、アクセスポイントに電話をかけて接続します。使用するモデムの通信速度によって利用できるアクセスポイントは異なります。アクセスする場合は、通信方式にあったアクセスポイントを選ぶか、アクセスポイントにあった通信方式を設定してください。

オンラインコマンドモード

通信相手との接続状態を保持したまま一時的に移ったコマンドモードの状態です。エスケープコマンドによりこの状態に移行します。

オンラインモード

本製品が通信相手と接続されている状態です。この状態で本製品はパソコンと通信相手とのデータの受け渡しを行っています。

回線速度

モデム間の通信速度のことをいいます。

コマンドモード

本製品がパソコンとの間でコマンドを受け取ったり、リザルトコードを送ったりしている状態です。本製品に動作環境を設定するときがこの状態です。

セットアップファイル

Windows OS 上において各種モデムを動作させるために詳細設定が必要となります。セットアップファイルとはその設定が記述されているもので単に定義ファイル、または inf ファイルとも呼ばれます。

データ圧縮

データを圧縮して送信することで、同じ通信速度で多くのデータを送ることができます。本製品ではサポートしておりません。

プラグ & プレイ

周辺機器をパソコン本体に接続する際、ケーブルなどを接続して電源を入れると、半自動的にドライバのインストールなどを行って使える状態にしてくれる機能のことです。

フレックスチェンジ方式

トラフィックに応じて 1x パケット方式と PIAFS 方式を自動で切り替える通信方式です。

フロー制御

データ通信を行う際に、送信側と受信側の処理速度の違いから、データが溢れてしまうことを防ぐために行われる制御のことです。パソコンと本製品、本製品と通信相手のモデムの間などでフロー制御が生じます。本製品を利用するにあたり、フロー制御は必要なものとお考えください。

フロー制御には RTS/CTS 信号線を使用するハードウェアフロー制御と、XON/XOFF キャラクタを使用するソフトウェアフロー制御の 2 種類があります。XON/XOFF フロー制御では 2 種類の 1 バイト文字を使用してフローコントロールをします。バイナリファイルの転送などには不向きです。使用するフロー制御の方式はプロバイダなどで指定していますので、それに従ってください。

プロバイダ

インターネット接続のサービスを代行している業者のことをいいます。プロバイダは専用のサーバーをもち、ユーザーはそこへアクセスすれば簡単にインターネットが始められます。個人でインターネットを利用する場合には、プロバイダに加入し、認証のためのユーザー名とパスワードを発行してもらいます。

分計サービス

ウィルコムが提供するサービスです。通話料金の請求先を2つに分けることができますのでビジネス、プライベートなど用途に応じた料金の区別が可能です。分計サービスをご利用になるには、別途ウィルコムに申込が必要です。

索引

A		シ	
ATコマンド.....	70,78	仕様.....	1
ATコマンドリファレンスマニュアル.....	70	使用環境.....	1
		使用上のご注意.....	1
D		セ	
DNSアドレス.....	14,28,44	接続状態(→通信状態).....	68
P		タ	
PINコード.....	58	対応OS.....	1
PUKコード.....	58	ツ	
T		通信方式.....	3
TCP/IP.....	74,75,77	通信状態.....	68
1		ト	
1xパケット方式.....	3,78	ドライバ.....	11,25,40
2		ネ	
2xパケット方式.....	3,78	ネームサーバーアドレス.....	14,28,44
3		ハ	
32kPIAFS.....	3,78	バージョン(→ファームウェアバージョン).....	57
4		パスワード.....	14,22,28,36,44,51,73, 75,76
4xパケット方式.....	3,78	フ	
6		ファームウェアバージョン.....	57
64kPIAFS.....	3,78	フレックスチェンジ方式.....	3,79
ア		プロバイダ.....	14,28,44,79
アクセスポイント.....	4,78	分計サービス.....	5,57,79
アンインストール.....	53	ヘ	
安全上のご注意.....	1	ベストエフォート.....	4,78
イ		ホ	
インストール.....	11,25,40,54	保証書.....	1
インターネット.....	22,36,51	本製品の使用方法.....	1
オ		ユ	
お問い合わせ先.....	1	ユーザー名.....	14,22,28,36,73,75
カ		ユーティリティ.....	54
簡易取扱説明書.....	1	リ	
コ		リサイクル.....	1
コンピュータの管理者.....	10,24,3		
9			
梱包品.....	1		

保証とアフターサービスについて

保証について

付属の「簡易取扱説明書」内に「保証書」が含まれております。記載内容および「お買上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。保証内容については保証書に記載されています。

修理について

修理を依頼される場合は、付属の「簡易取扱説明書」および本書をお読みの上、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。（「3章 困ったときに」⇒62ページ）

それでも改善、復旧しない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

（「お問い合わせ先」は、付属の「簡易取扱説明書」の「お問い合わせ先」をご覧ください。）

保証期間中の修理：保証書の記載内容に基づいて修理します。

保証期間経過後の修理：修理により機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償にて修理します。



- 本製品は梱包品を含め、改良のため予告なく製品の全部、または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信等の機会を逸したために発生した損害など付随的な損害の保証について、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録されたデータやお客様が独自に設定、インストールされたソフトが消去される（出荷時の初期状態となる）場合があります。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。